

GANZ Management Software

GMS

取扱説明書



.....

GANZ DVR用通信ソフトウェア

ZR-DA604J

ZR-DA609J

ZR-DA616J

ZR-DA709J

ZR-DA716J

ZR-DA304J

ZR-DHC1630NP

注意

- ① Windowsの動作環境にご注意下さい。
(次ページに掲載。VRAMに注意)
- ② セキュリティソフトご利用の際はご注意ください。
(次ページに掲載。)



ご使用になる前に

GMS 概要

GANZのZR-DA600/700/304シリーズおよびZR-DHC1630NP用の通信ソフトです。
強力な一元監視機能を備えた統合セキュリティ管理ソフトウェアです。

動作環境

- ▶OS ⇒Windows 2000またはWindows XP Professional 推奨
Windows Vista Home (Basic,Premium), Business (一部機能に制限あり)
- ▶CPU ⇒Intel ® Pentium4 2GHz 以上
- ▶メインメモリ ⇒128MB 以上 (1GB を推奨)
- ▶VGAカード ⇒VRAM 64MB以上搭載
AMD社製 RADEONシリーズ 推奨
- ▶HDD ⇒ハードディスク上に 200MB の空き領域 (プログラムインストール用)
- ▶DirectX ⇒Ver.9.0 以上のインストールの必要
- ▶モニタ解像度⇒1024 × 768(XGA) 推奨
- ▶セキュリティソフト⇒ 動作確認済みソフト
 - Symantec社製 Norton Internet Security 2007
 - Trend Micro社製 ウイルスバスター-2007
 - AhnLab社製 v3ウイルスブロック2007

※動作確認済みのセキュリティソフトを記載しておりますがセキュリティソフトの更新等により、
新たな設定ファイルをインストールした際にGMSソフトウェアに影響を及ぼす可能性が御座います。
この場合はセキュリティソフトをオフにご利用頂くか、ご利用されているセキュリティソフトの
メーカーサポートセンターまでお問い合わせください。セキュリティソフトの設定等については
弊社ではお問合せには応じられませんのでご了承ください。

DVR互換性

GMSで管理可能なDVR

- ・ZR-DA604/609/616/709/716/304J
- ・ZR-DHC1630NP

※GMSの機能において、各DVRに未対応の機能が御座います。

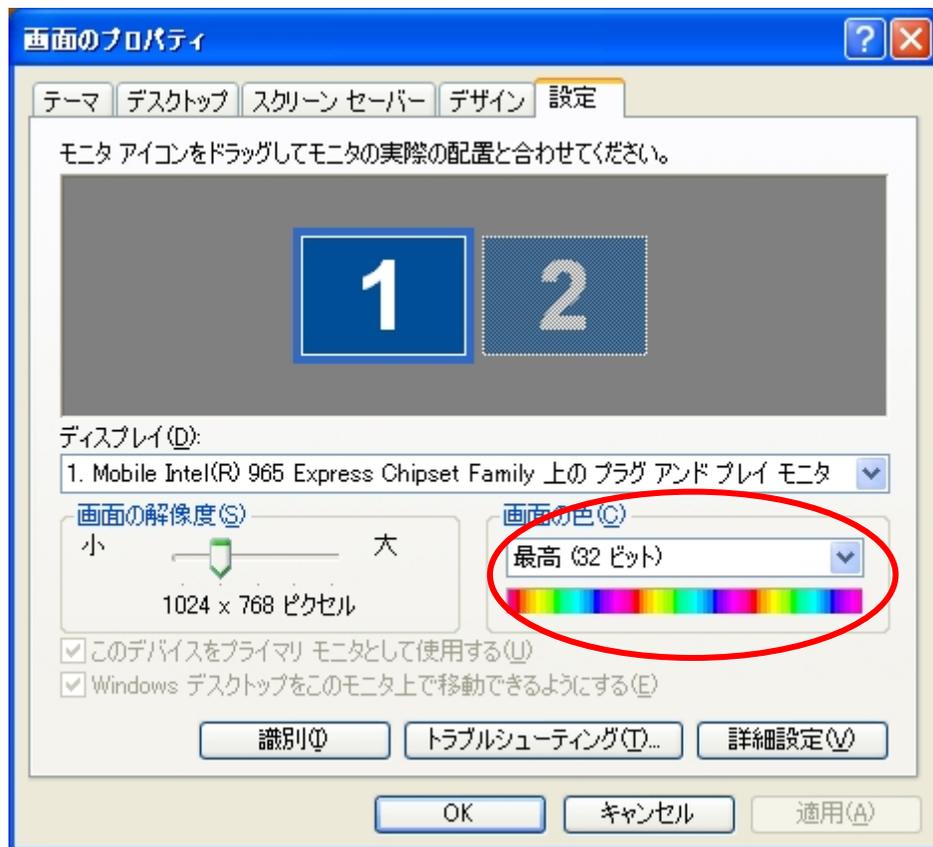
目次

0. Windowsの設定確認	5
1. GMSアプリケーションのインストール	6
2. GMSアプリケーションの各種用途	9
3. GMS監視	10
3.1 初期画面	10
3.2 DVRサーバーとの接続	11
3.3 サーバーリスト	17
3.4 ライブ映像画面	18
3.5 分割画面表示	20
3.6 全画面表示	21
3.7 タイムグラフパネル	22
3.8 再生コントロール	25
3.9 単チャンネル再生	26
3.10 PTZカメラの制御	27
3.11 バックアップ	28
4. GMS再生	31
4.1 初期画面	31
4.2 録画映像の再生画面	32
4.3 再生時のタイムグラフパネル	33
4.4 再生コントロール	35
4.5 再生画面の分割	36
4.6 印刷	37
4.7 ブックマーク	39
4.8 画質調整	42
4.9 カレンダー	43
4.10 イベント	44
4.11 バックアップデータ再生	45
5. GMS E-Map	47
5.1 E-Map表示	46
5.2 E-Map追加	48
5.3 E-Map名称変更	49
5.4 E-Map削除	50
5.5 E-Mapへのデバイスコントロール登録	51
5.6 E-Map上のデバイスコントロールの削除	52
5.7 E-Map上の全デバイスコントロールの削除	53
5.8 ライブ映像の出力	54
6. 設定	55
6.1 ハードウェア	55
6.1.1 カメラ	55
6.1.2 アラーム	59

6.2 録画	60
6.2.1 録画	60
6.2.2 スケジュール	61
6.3 イベント	62
6.3.1 モーション検知	62
6.4 ネットワーク	64
6.4.1 ネットワーク	64
6.4.2 DDNS	65
付録	
1. 支援項目	66

0. Windowsの設定確認 (Windows XP)

- ① Windowsのデスクトップ上で、マウスを右クリックして「プロパティ」を選択すると「画面のプロパティ」が表示されます。
- ② 「設定」タブをクリックします。
- ③ 「画面の色」設定を「最高 (32ビット)」に変更して「適用」ボタンをクリックすると設定が反映されます。
- ④ 「OK」ボタンをクリックして「画面のプロパティ」を閉じます。



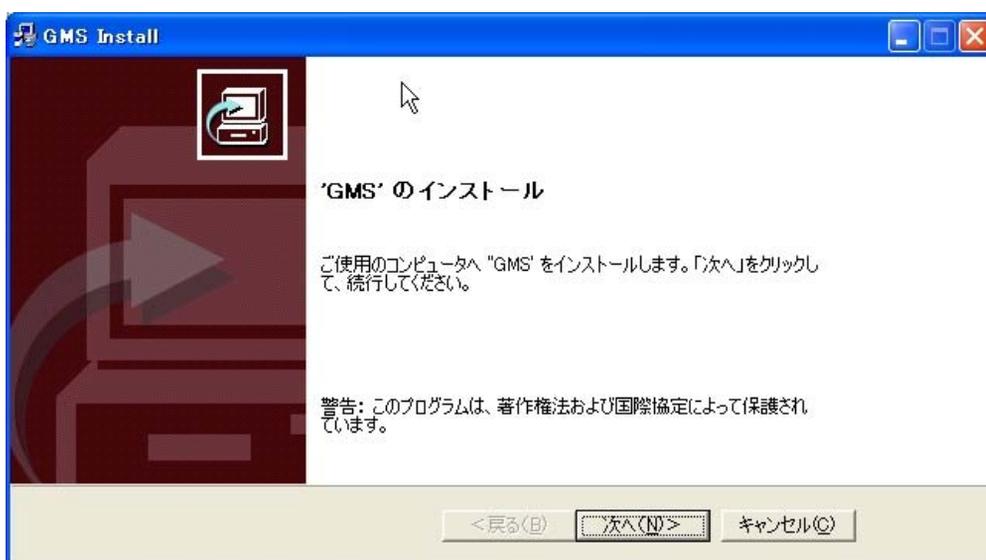
補足： GMSソフトウェアのインストール後、ソフトが正常に起動しない場合は「画面の解像度」を「1020×768 ピクセル」に変更して下さい。(但し、ご使用のPCによっては異なる場合が御座います。)

1. GMSアプリケーションのインストール

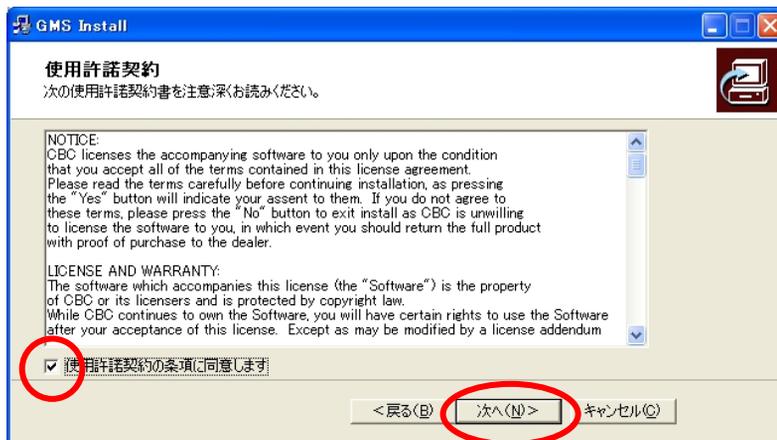
- ① 「GMS」フォルダ内の「setup.exe」をダブルクリックして、セットアッププログラムを起動します。



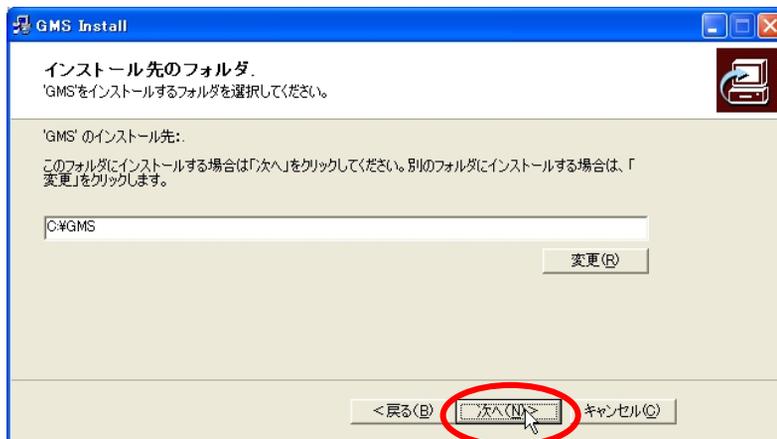
- ② 「次へ」ボタンをクリックします。



- ③ 「使用承諾契約に同意します」チェックボックスをクリックしてオン にした後、「次へ」ボタン をクリックします。



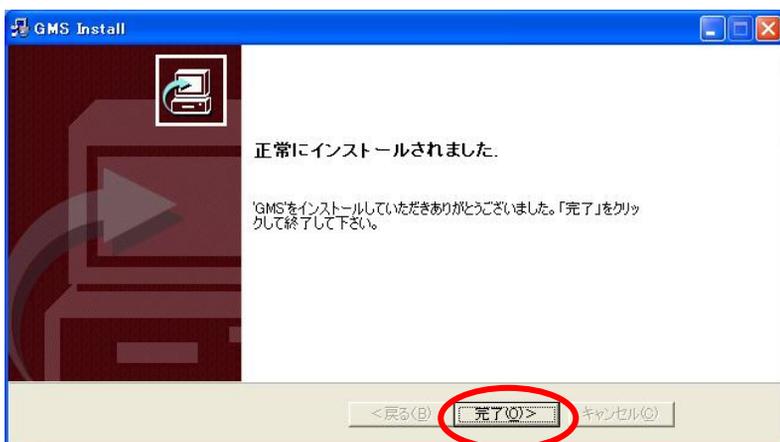
- ④ 「次へ」ボタンをクリックします。(GMSのインストール先フォルダを変更しないでください。)



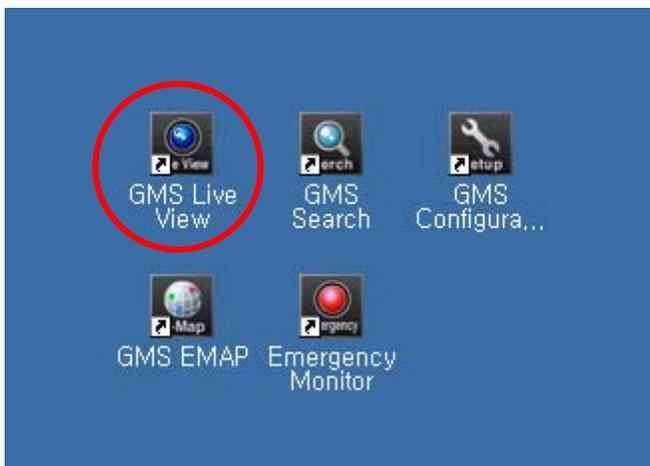
- ⑤ インストールが開始されます。



- ⑥ 正常にインストールされたことを確認して「完了」ボタンをクリックします。



- ⑦ デスクトップに各種GMSアプリケーションのアイコンが表示されます。



- ⑧ デスクトップの「GMS Live View」アイコンをダブルクリックするとソフトが起動します。



2. GMS アプリケーションの各種用途



▶ **「GMS Live View」**

⇒ ライブ監視(最大10台のDVRを同時接続、カメラ選択は最大36台の監視を行います。)

▶ **「GMS Search」**

⇒ 検索/再生(選択したDVR1台の録画データを検索、再生及びバックアップを行います。)

▶ **「GMS Configuration」**

⇒ 設定変更(GMS及びDVRの設定変更を行います。)

DVRの設定変更は、変更できない設定も御座います。

▶ **「GMS EMAP」**

⇒ マップライブ監視(マップ上で、カメラ映像とアラームの監視を行います。)

取り込むマップデータは「JPEG」のみです。(サイズは任意)

▶ **「Emergency Monitor」**

⇒ アラームポップアップ画面(ZR-DA6xx/7xx/304Jでは対応していません)。

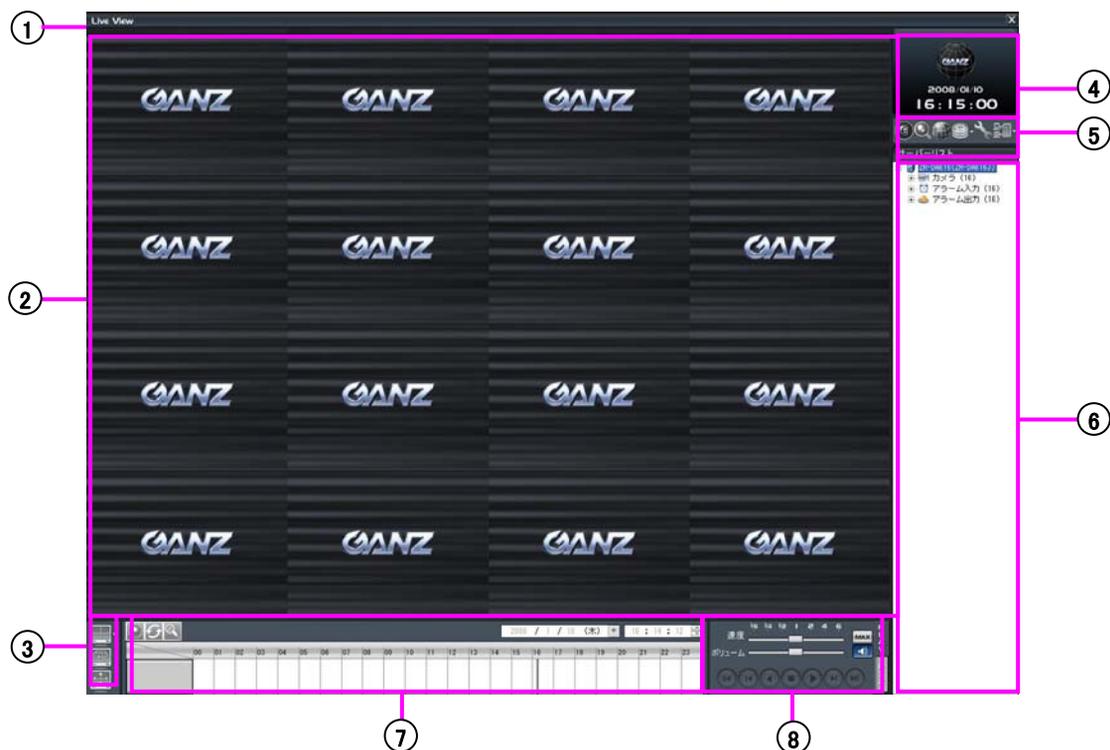
また使用する際はPC側にも固定IPが必要になります。

各アプリケーションは、アイコンをダブルクリックして起動させます。

3. GMS監視

3.1 初期画面

GMS Live Viewは、DVRの遠隔監視と制御機能を提供します。各コントロールの機能説明を次に示します。



- ① **タイトルバー** ⇒ プログラム名が表示されます。
- ② **表示パネル** ⇒ ライブ映像と録画映像を表示します。
- ③ **画面操作ボタン** ⇒ 分割表示、シーケンス、全画面表示を切り替えます。
- ④ **日時時刻表示** ⇒ 日付と時刻を表示します。
- ⑤ **ツールメニュー** ⇒ イベントモニター (未対応)
 - 検索 (録画データを検索及び再生)
 - E-Map (マップ上で、カメラ映像とアラームの監視)
 - バックアップ (録画データのバックアップ)
 - 設定 (GMS及びDVRの設定変更)
 - 接続/追加 (DVRの接続設定及び接続と切断、アップグレード、アプリケーションの終了)



- ⑥ **サーバーリスト** ⇒ DVRサーバーに接続したカメラ、センサー入力、リレー出力のリソース情報を表示します。
- ⑦ **タイムグラフ** ⇒ 表示パネルで選択したカメラの録画時間を表示します。
録画時間は、24時間形式のグラフで表示されます。
- ⑧ **再生 / PTZタブ** ⇒ 再生タブ (再生ボタンと逆再生ボタン)
PTZタブ (PTZカメラを制御)

3.2 DVRサーバー接続

DVRサーバーグループを追加する

1. ツールメニューの  をクリックすると下図のポップメニューが表示されます。



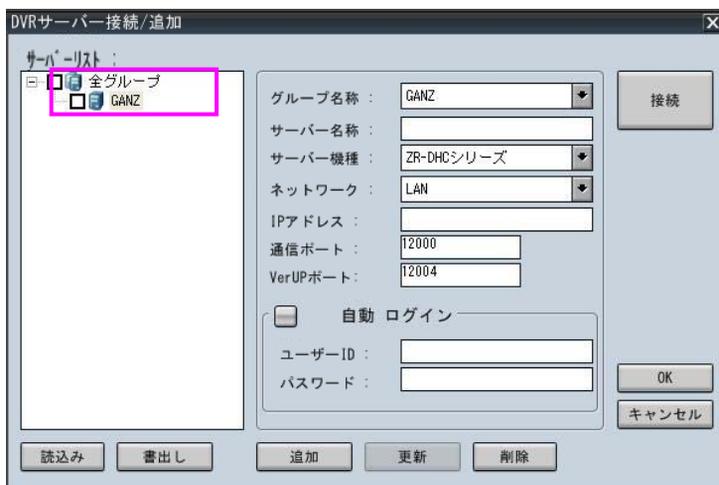
2. ポップメニューの「接続/追加」をクリックすると「DVRサーバー接続/追加」の画面が表示されます。



3. グループ名称を入力します。(任意の名前)

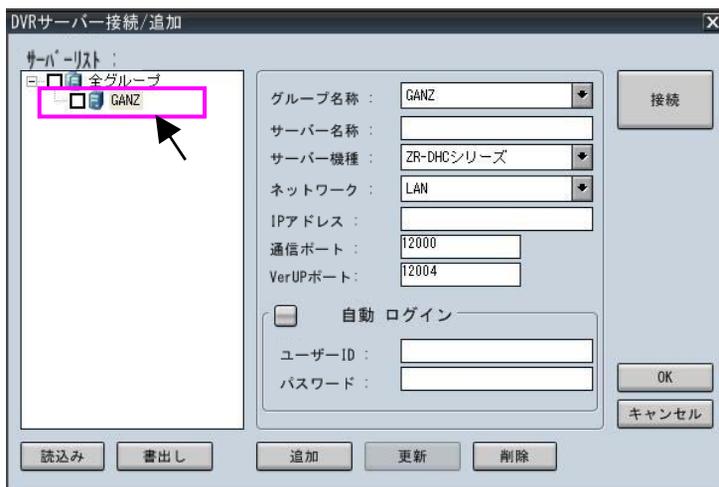


4. 「追加」ボタンをクリックすると入力されたグループがサーバーリストに追加されます。

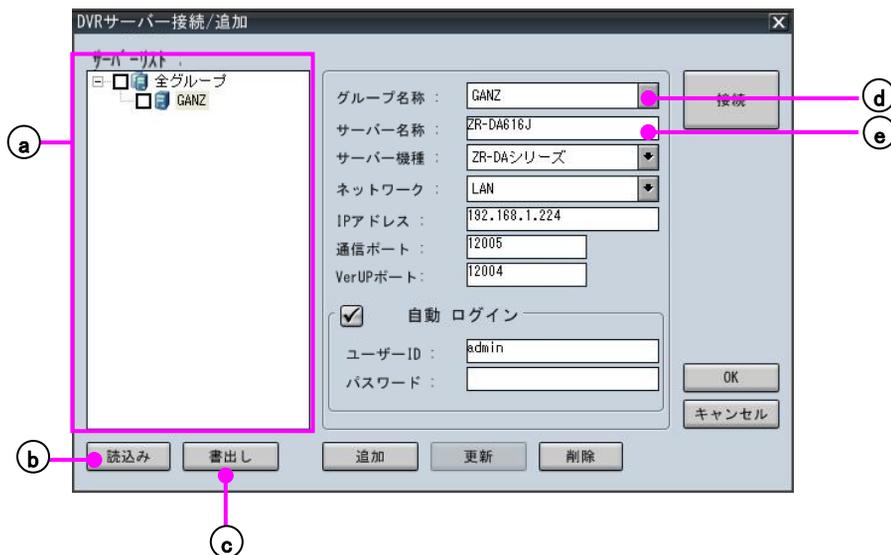


DVRサーバーを追加する

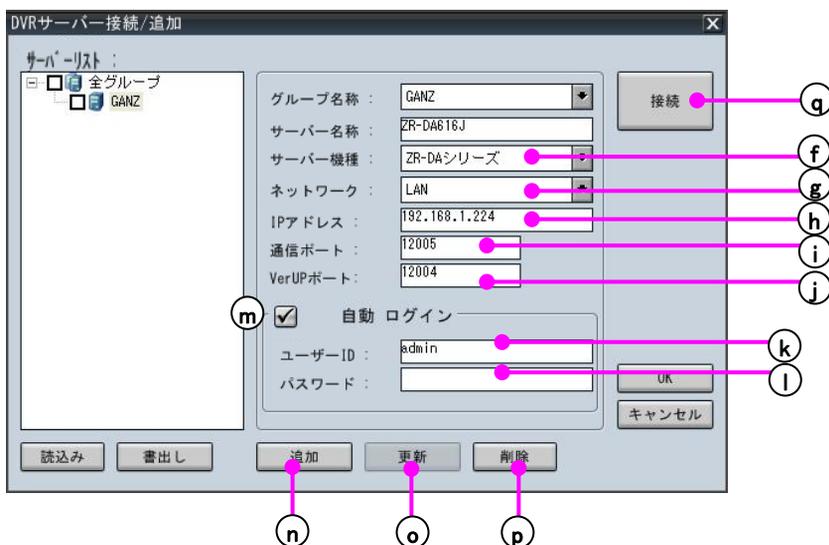
1. DVRサーバーを追加するグループ名称を選択します。



2. DVRサーバーの接続情報を入力します。



- サーバーリスト ⇒ 登録されているグループとサーバーを一覧表示します。
- 読み込み ⇒ サーバー接続情報をインポートします。
- 書出し ⇒ サーバー接続情報をエクスポートします。
- グループ名称 ⇒ グループ名が表示されます。
- サーバー名称 ⇒ サーバー名が表示されます。サーバー名を入力して、追加することもできます。



- ① f サーバー機種 ⇒ 接続するDVRサーバーに合わせてサーバー機種を選択します。
- ② g ネットワーク ⇒ ネットワーク方式を選択します。
- ③ h IPアドレス ⇒ 接続するDVRサーバーのIPアドレスまたはドメイン名を入力します。
- ④ i 通信ポート ⇒ 接続するDVRサーバーとの通信ポート番号を入力します。
- ⑤ j VerUPポート ⇒ 現在は対応していません。
- ⑥ k ユーザーID ⇒ DVRサーバーのユーザーIDを入力します。
- ⑦ l パスワード ⇒ DVRサーバーのパスワードを入力します。
- ⑧ m 自動ログイン ⇒ GMS起動時に自動ログインする場合、有効にします。
- ⑨ n 追加 ⇒ 入力したグループまたはサーバーを追加します。
- ⑩ o 更新 ⇒ 登録されているDVRサーバーの接続情報を変更した後にクリックすると更新します。
- ⑪ p 削除 ⇒ 登録されているDVRサーバーをサーバーリストから削除します。
- ⑫ q 接続 ⇒ DVRサーバーに接続します。

3. 「追加」ボタンをクリックすると入力されたサーバーがサーバーリストに追加されます。



DVRサーバーとの接続

※GMS起動時に前回の接続状態でDVRサーバーを接続します。

1. ツールメニューの  をクリックすると下図のポップメニューが表示されます。



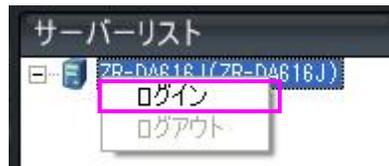
2. ポップメニューの「接続/追加」をクリックすると「DVRサーバー接続/追加」の画面が表示されますのでサーバーリストから手動接続するDVRサーバーを選択します。



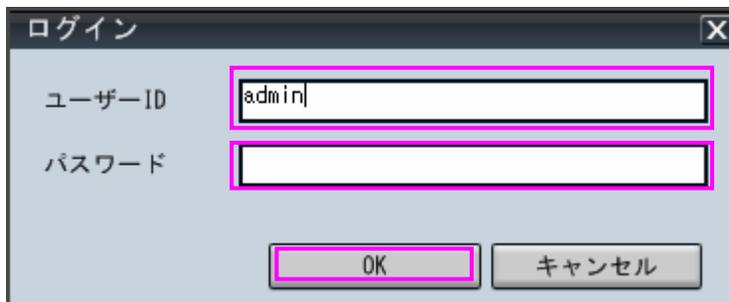
3. 「接続」ボタンをクリックすると選択されたDVRサーバーが接続されてサーバーリストに表示されます。



4. サーバーリストに表示されたDVRサーバーを右クリックして「ログイン」を選択します。



5. ユーザーIDとパスワードを入力して「OK」ボタンをクリックすると接続及びログイン処理完了となります。



DVRサーバーを切断する

1. ツールメニューの  をクリックすると下図のポップメニューが表示されます。



2. ポップメニューの「切断」をクリックすると「DVRサーバー切断」の画面が表示されますので切断するDVRサーバーを選択します。



3. 「切断」ボタンをクリックすると選択されたDVRサーバーが切断されます。

4. 「閉じる」をクリックして、「DVRサーバー切断」の画面を閉じます。

GMSを終了する

1. ツールメニューの  をクリックすると下図のポップメニューが表示されます。



2. ポップメニューの「終了」をクリックするとGMSが終了されます。

3.3 サーバーリスト

サーバーリストには、デバイス(カメラ、センサー入力、リレー出力)の状態がツリー形式で表示されます。

The screenshot shows a tree view of server devices under the heading 'サーバーリスト'. The tree is organized into three main categories: 'カメラ (16)', 'センサー入力 (16)', and 'リレー出力 (16)'. Each category contains 16 sub-items. The 'カメラ' items are labeled CAMERA1 through CAMERA16. The 'センサー入力' items are labeled 'alarm in 01' through 'alarm in 16'. The 'リレー出力' items are labeled 'alarm out 01' through 'alarm out 14'. The 'alarm out 04' item is highlighted with a blue selection bar. To the right of the tree, there are three legend sections. The first section, 'DVRサーバー名称', points to the top-level server name 'ZR-DA616J(ZR-DA616J)'. The second section, 'カメラ名と状態', lists camera types with their corresponding icons: standard camera with video input, standard camera without video input, PTZ camera with video input, PTZ camera without video input, and non-display camera. The third section, 'センサー入力の状態', lists sensor event status: no event and event present. To the right of these legends, there are two columns of icons labeled 'センサー録画時' and 'モーション録画時', showing various camera status icons for recording periods.

サーバーリスト

ZR-DA616J(ZR-DA616J)

カメラ (16)

- CAMERA1
- CAMERA2
- CAMERA3
- CAMERA4
- CAMERA5
- CAMERA6
- CAMERA7
- CAMERA8
- CAMERA9
- CAMERA10
- CAMERA11
- CAMERA12
- CAMERA13
- CAMERA14
- CAMERA15
- CAMERA16

センサー入力 (16)

- alarm in 01
- alarm in 02
- alarm in 03
- alarm in 04
- alarm in 05
- alarm in 06
- alarm in 07
- alarm in 08
- alarm in 09
- alarm in 10
- alarm in 11
- alarm in 12
- alarm in 13
- alarm in 14
- alarm in 15
- alarm in 16

リレー出力 (16)

- alarm out 01
- alarm out 02
- alarm out 03
- alarm out 04
- alarm out 05
- alarm out 06
- alarm out 07
- alarm out 08
- alarm out 09
- alarm out 10
- alarm out 11
- alarm out 12
- alarm out 13
- alarm out 14

DVRサーバー名称

カメラ名と状態

- 標準カメラ(ビデオ入力あり)
- 標準カメラ(ビデオ入力なし)
- PTZカメラ(ビデオ入力あり)
- PTZカメラ(ビデオ入力なし)
- 非表示カメラ

センサー録画時 **モーション録画時**

センサー入力の状態

- センサーイベントなし
- センサーイベントあり

リレー出力の状態

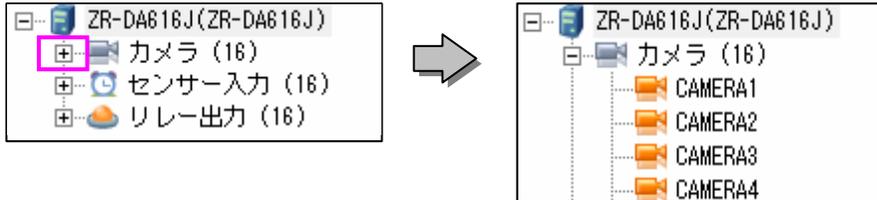
- リレー出力なし
- リレー出力あり

3.4 ライブ映像画面

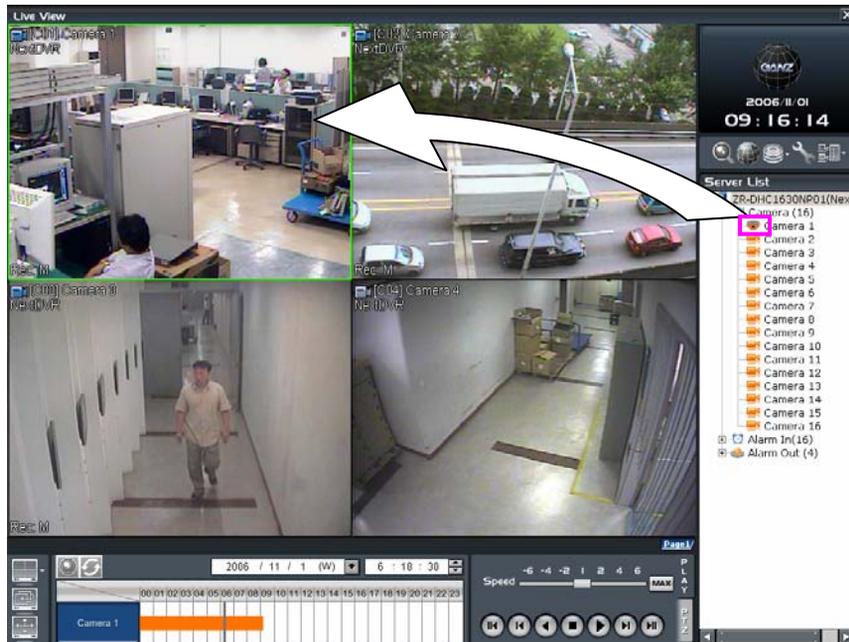
ライブ映像画面では複数のDVRサーバーから任意にカメラを選択して表示させることができます。

ライブ映像を表示する

1. サーバリストのデバイスを参照するには、プラス記号(+)をクリックして、ツリーを展開します。



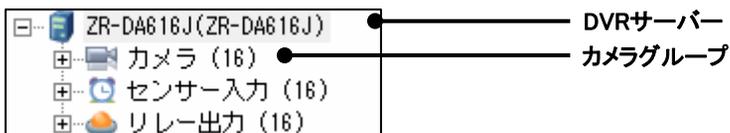
2. サーバリストのカメラをドラッグして、表示パネル内でドロップすると選択されたカメラ映像を表示します。



3. 前述の手順を繰り返して、DVRサーバーに接続されたカメラ映像を表示させます。

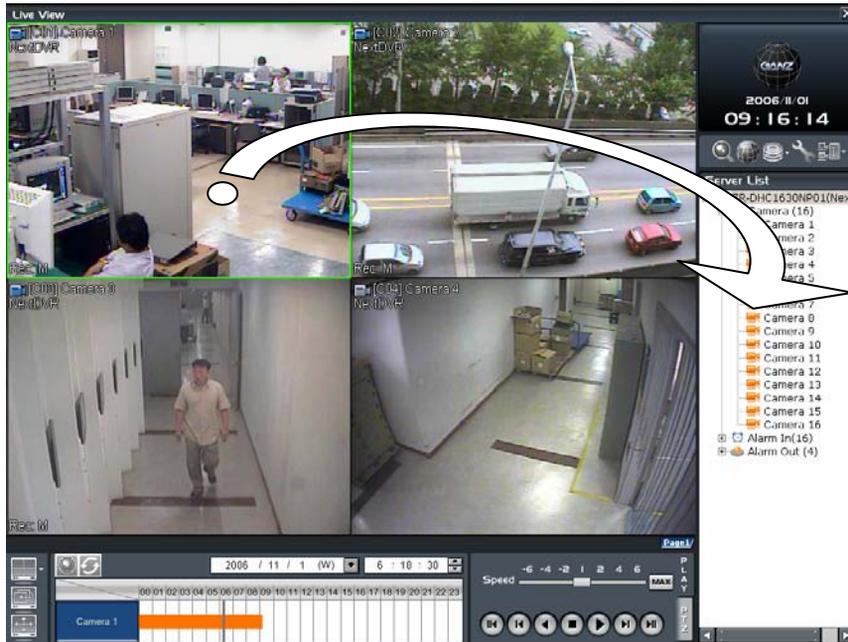
「注」

・サーバリストのDVRサーバーから、又はカメラグループをドラッグして表示パネル内にドロップすると全てのカメラを表示することができます。

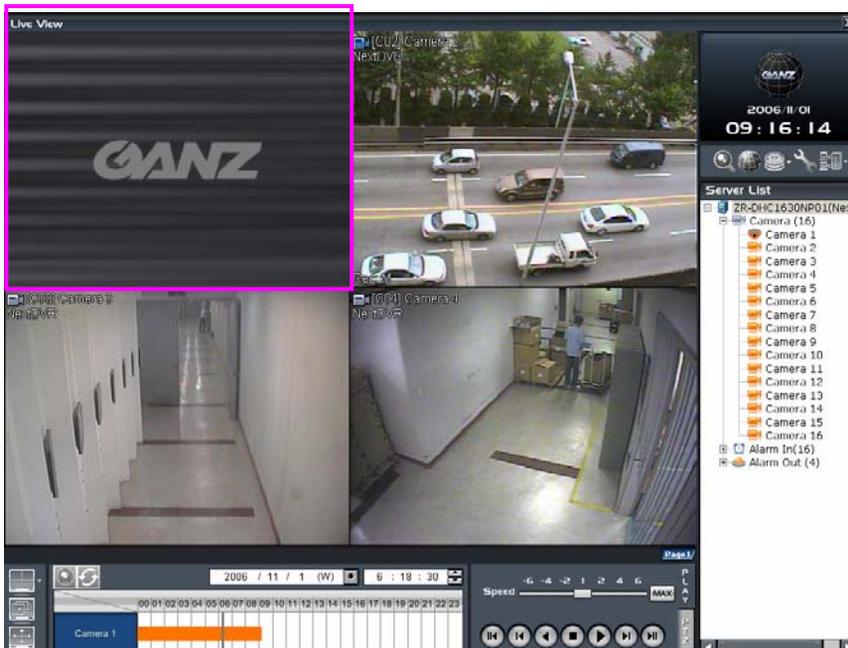


ライブ映像を消去する

1. 表示パネルのライブ映像をドラッグしてサーバーリスト内でドロップすると選択されたライブ映像が消去されます。



2. 消去した場所にはGANZのロゴ画面が表示されます。



3.5 分割画面表示

表示パネル内の画面を分割画面で表示させることができます。

分割画面で表示する

1. 画面操作の  をクリックすると下図のポップメニューが表示されます。



2. ポップメニューの分割ボタンをクリックすると対応する分割画面で表示されます。



4分割



6分割



9分割



10分割



13分割



16分割



25分割



33分割

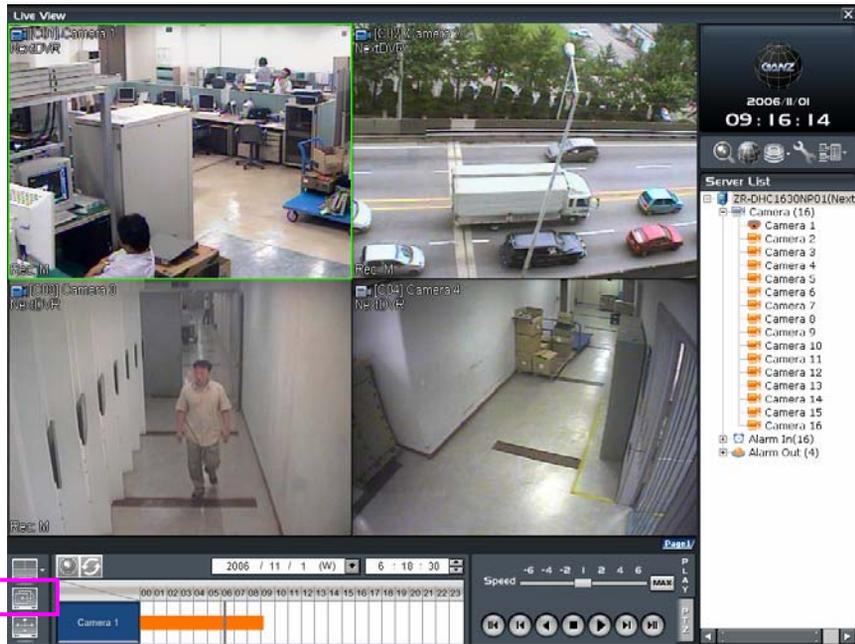


36分割

3.6 全画面表示

全画面で表示する

1. 画面操作の  をクリックします。



2. 表示パネルが全画面で表示されます。

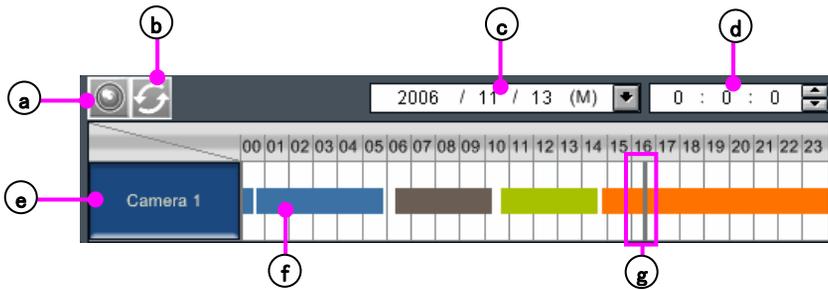


3. 全画面表示を解除する場合は、マウスの左クリックで行います。

3.7 タイムグラフパネル

タイムグラフには、選択したチャンネルの録画状態が表示されます。録画状態は24時間形式のグラフで表示され、録画グラフの色は録画種別によって異なります。録画種別は、連続、モーション、アラーム、プリアラーム、ATM/POSがあります。

タイムグラフパネル



- Ⓐ ライブ画面ボタン ⇒ 単チャンネル再生画面をライブ画面に戻します。
- Ⓑ 更新ボタン ⇒ 最新の録画時刻でタイムグラフを更新します。
- Ⓒ 日付選択 ⇒ 年月日を選択します。
- Ⓓ 時刻選択 ⇒ 時刻を選択します。
- Ⓔ カメラボタン ⇒ 指定した単チャンネルのタイムグラフを表示します。(表示後に再生可能。P26参照)
- Ⓕ タイムグラフ ⇒ 録画種類と録画時間をグラフで表示します。

色	表示内容	表示例
・オレンジ	連続録画	
・青	モーション録画	
・黄緑	プリアラーム録画	
・緑	アラーム録画	
・水色	音声録画	
・ピンク	緊急録画	
・灰色	オブジェクト監視	
・紫	ATM/POS	

- Ⓖ 検索バー ⇒ 検索再生する時刻を選択します。

カレンダーを使用して任意の録画日を表示選択できます。選択された日付は青枠で表示され、録画情報がタイムグラフに表示されます。

日付を選択する

1.  をクリックしてカレンダーを表示させます。

2008 / 1 / 23 (水) 

2. カレンダーで日付を選択します。



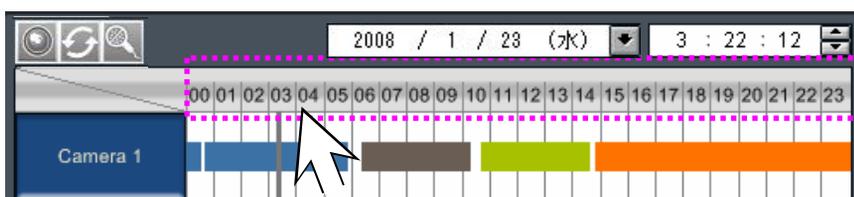
3. 検索再生する時刻を入力します。

13 : 56 : 36 

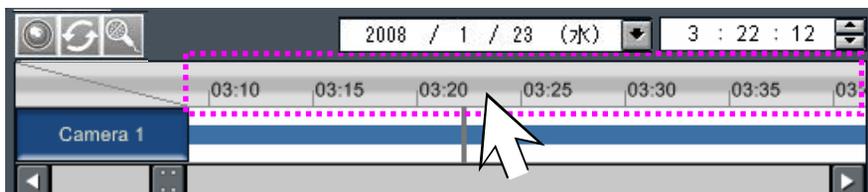
タイムグラフのスケールサイズは変更できます。タイムグラフを左クリックするとスケールが拡大され時刻を詳細に設定する際に便利です。

タイムグラフを拡大する

1. マウスを左クリックして、タイムグラフを拡大します。

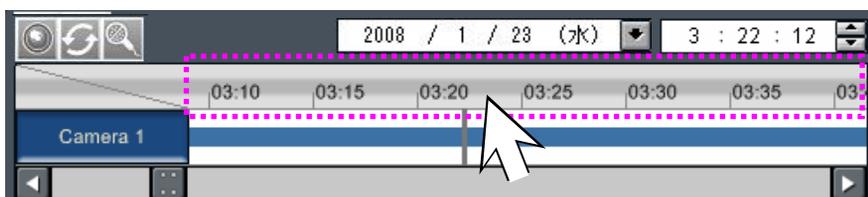


2. 左ボタンをもう一度クリックすると、タイムグラフがさらに拡大します。(3段階)

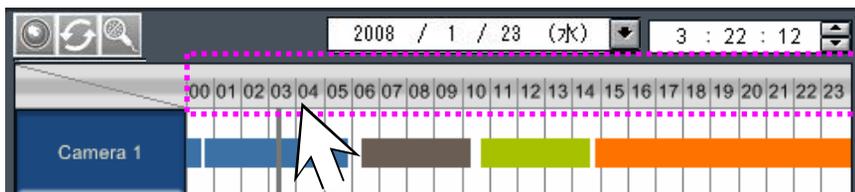


タイムグラフを縮小する

1. マウスを右クリックして、タイムグラフを縮小します。



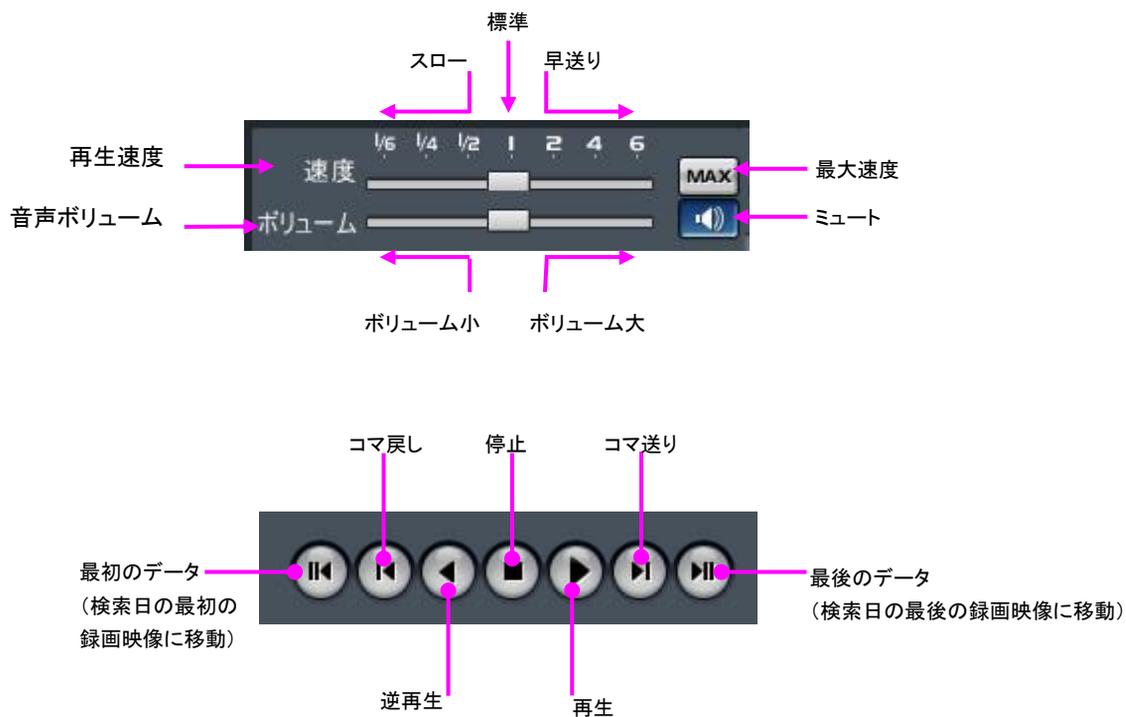
2. 右ボタンをもう一度クリックすると、タイムグラフがさらに縮小します。



3.8 再生コントロール

再生コントロール

日付時間を検索すると、再生ボタンや一時停止ボタンなどのコントロール及び再生速度を調整するコントロールが使用できます。

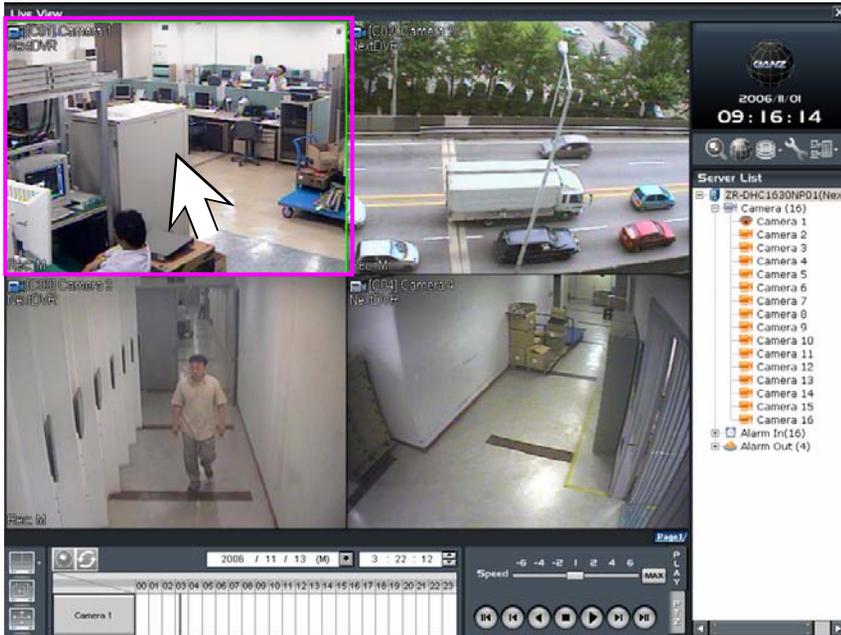


3.9 単チャンネル再生

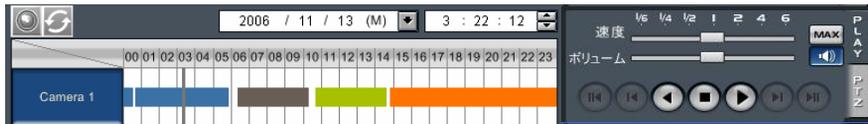
ライブ画面を監視しながら、単チャンネルの検索再生を実行することができます。

単チャンネル再生を実行する

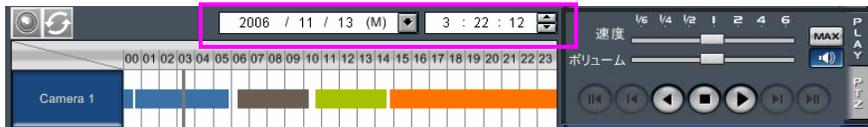
1. 検索再生する映像をクリックして選択します。



2. 選択したチャンネルのカメラボタンをクリックするとタイムグラフが表示されます。

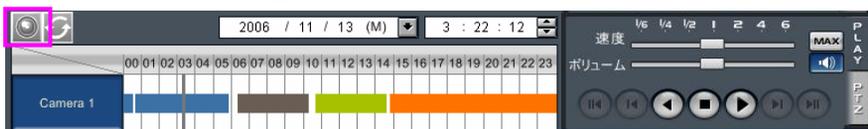


3. 日時と時間を選択します。



4.  をクリックするとライブ映像が選択された日付と時間で再生されます。

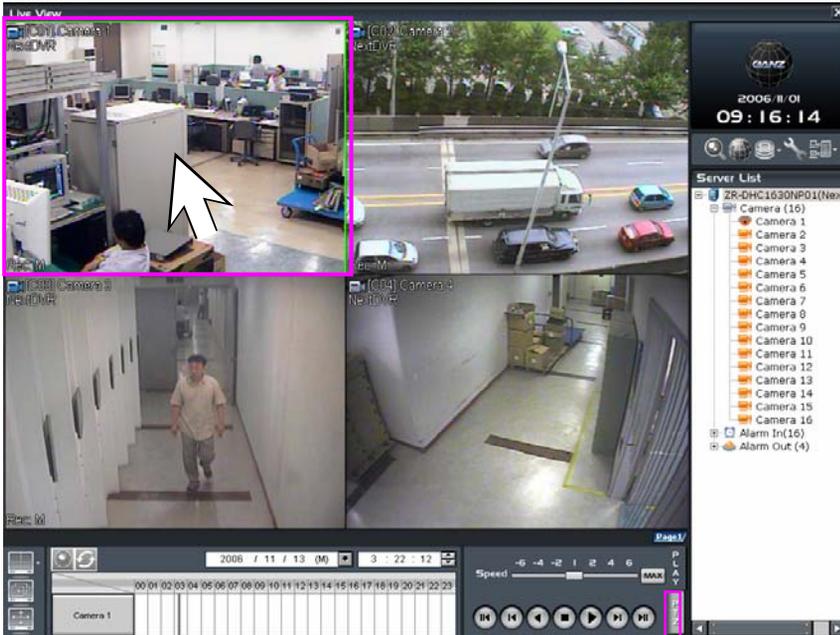
5. ライブ映像に戻るには、 をクリックします。



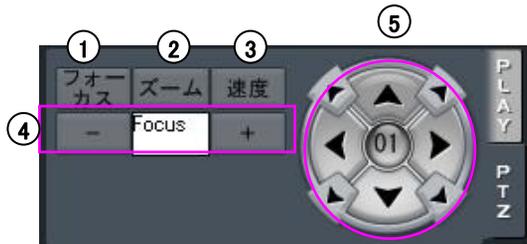
3.10 PTZカメラの制御

PTZカメラを制御する

1. PTZカメラを接続及び設定したライブ映像を選択して、「PTZ」タブをクリックします。



2. 「PTZ」コントロールが表示されます。



- ① **フォーカス** ⇒ PTZカメラのフォーカスを調整します。オートフォーカスを選択した場合、フォーカスは調整できません。
- ② **ズーム** ⇒ PTZカメラをズームイン/ズームアウトします。
- ③ **速度** ⇒ PTZカメラの速度とフォーカス速度を調整します。
- ④ **コントロール** ⇒ フォーカス、ズーム、速度を設定します。
- ⑤ **PTZカメラの方向制御** ⇒ PTZカメラの位置を上下左右に移動します。

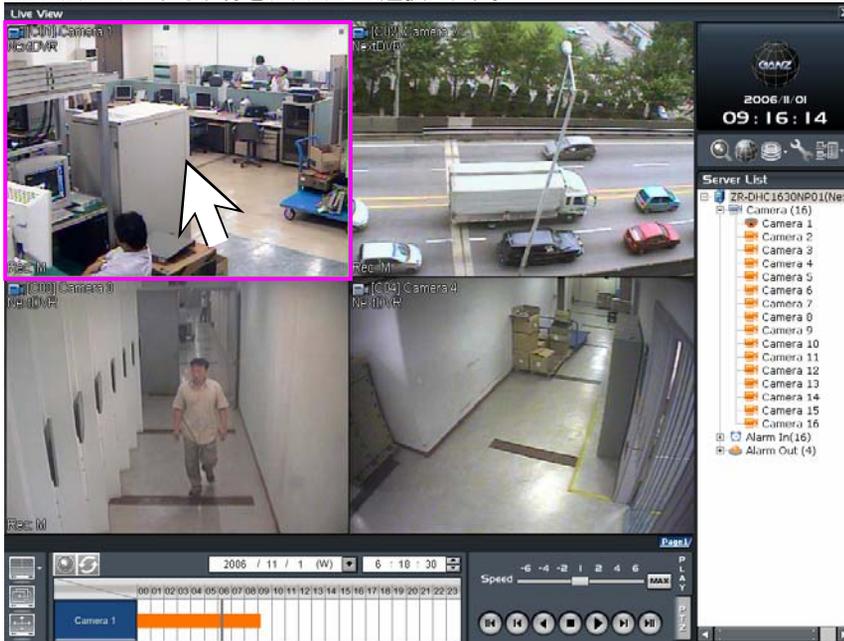
3.11 バックアップ

GMS Live Viewからのバックアップは選択された単チャンネル毎に行います。

同時に複数のチャンネルをバックアップする場合は、GMS Searchからのバックアップを行います。

データをバックアップするには

1. バックアップする映像をクリックして選択します。



2. ツールメニューの  をクリックすると下図のポップメニューが表示されます。



3. ポップメニューの「バックアップ」をクリックすると「バックアップ」の画面が表示されます。



4. バックアップの詳細情報を入力します。



① **バックアップ方式** ⇒ バックアップのフォーマットを選択します。

・ 時間	GANZビデオフォーマットで映像をバックアップします。 再生にはGMSソフトウェアが必要です。
・ AVI	MS Windows Media Player標準フォーマットで映像をバックアップします。
・ SFX(自動解凍ファイル)	専用プレーヤー内蔵のバックアップファイルを生成します。
・ BMP、JPEG	静止画像をBMPまたはJPEGフォーマットでバックアップします。

② **範囲** ⇒ バックアップする時間を設定します。

③ **カメラ** ⇒ バックアップするカメラを選択します。AVIとSFXフォーマットでは、単チャンネルのみの選択となります。

④ **容量** ⇒ 「計算」ボタンをクリックするとバックアップするデータの目安容量を計算します。

⑤ **対象** ⇒ 対象となるサーバー名を表示します。

⑥ **バックアップ先** ⇒ バックアップ先の条件を設定します。

⑦ **オプション** ⇒ 選択したバックアップ方式により表示される項目が異なります。

・ 時間	—
・ AVI	音声バックアップ、コーデック
・ SFX(自動解凍ファイル)	音声バックアップ
・ BMP、JPEG	ウォーターマーク、ウォーターマークチェッカー、フレーム情報表示、非表示エリア

5. 「OK」ボタンをクリックするとバックアップが実行されます。

「注」

- ・ 付録のページに対応しているドライブ機器(CD/DVD-R/RW)を記載しておりますのでご参照ください。

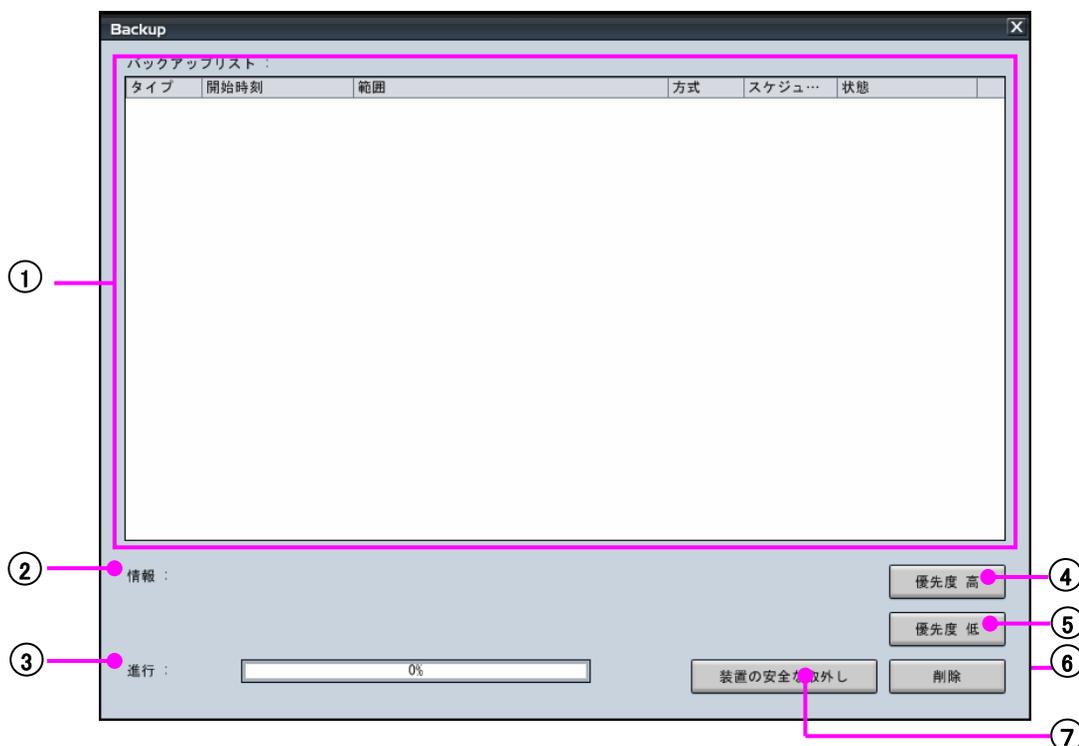
バックアップが開始されるとリスト内にバックアップの情報及び進行状況が表示されます。

バックアップリストを管理する

1. ツールメニューの  をクリックすると下図のポップメニューが表示されます。



2. ポップメニューの「管理」をクリックすると「Backup」の画面が表示されます。



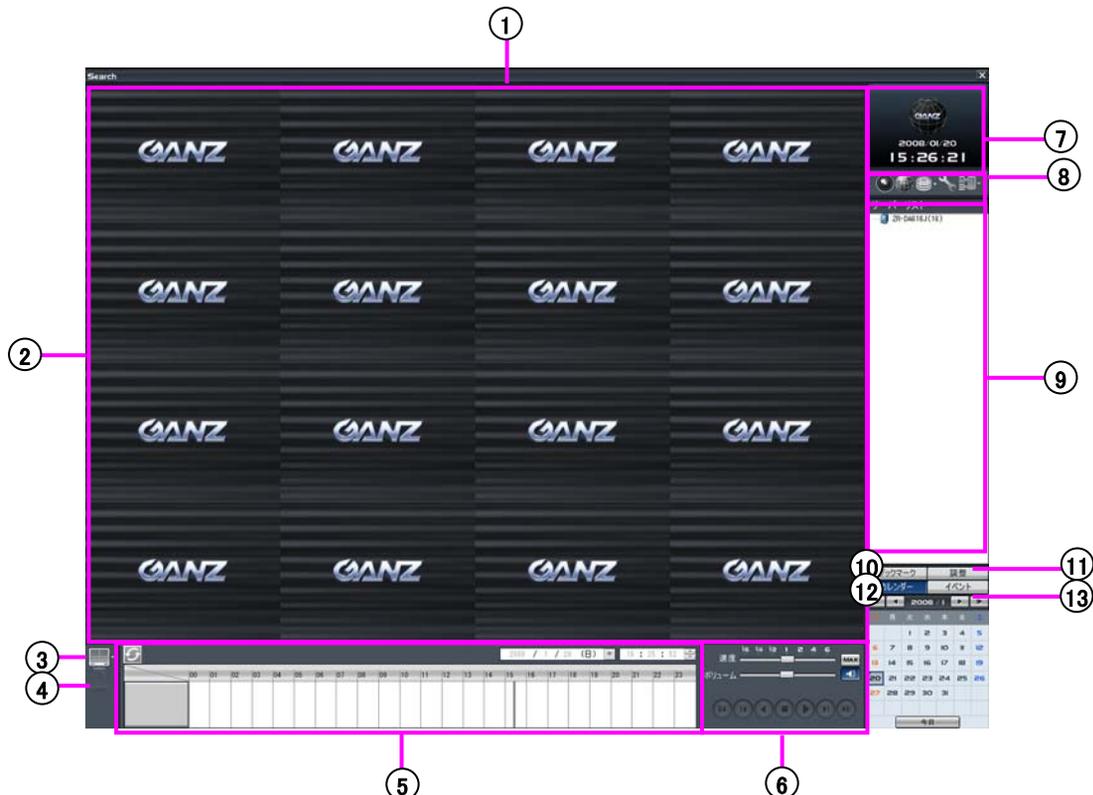
- ① **バックアップリスト** ⇒ 実行中及び実行待ちのバックアップリストを表示します。
- ② **情報** ⇒ 選択したバックアップリストのリスト情報を表示します。
- ③ **進行** ⇒ 選択したバックアップの進行状況を表示します。
- ④ **優先度 高** ⇒ 選択したバックアップスケジュールの優先順位を高くします。
- ⑤ **優先度 低** ⇒ 選択したバックアップスケジュールの優先順位を低くします。
- ⑥ **削除** ⇒ 選択したバックアップリストを削除します。
- ⑦ **装置の安全な取外し** ⇒ USBなどの接続機器を安全に取外す為の準備をします。

4. GMS再生

4.1 初期画面

GMS Playbackでは、DVRデータ内のデータを遠隔監視して再生できます。

GMS Playbackには、次のユーザーインターフェースがあります。各コントロールの説明を次に示します。



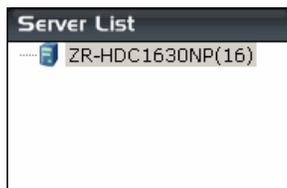
- ① **タイトルバー** ⇒ プログラム名が表示されます。
- ② **表示パネル** ⇒ 録画映像を表示します。
- ③ **分割ボタン** ⇒ 表示パネルを分割画面で表示します。
- ④ **印刷ボタン** ⇒ 録画画像を印刷します。
- ⑤ **タイムグラフパネル** ⇒ カメラの録画状態を表示します。録画時間は、24時間形式のグラフで表示されます。
 をクリックすると、最新の録画時間が表示されます。
- ⑥ **再生操作パネル** ⇒ 再生ボタンと逆再生ボタンなどのコントロールを使用して、録画映像を再生します。
再生速度と音量も調整できます。
- ⑦ **日付時刻表示** ⇒ 日付と時刻を表示します。
- ⑧ **ツールメニュー** ⇒ ライブ画面(ライブ監視及び単画面再生)
E-Map(マップ上で、カメラ映像とアラームの監視)
バックアップ(録画データのバックアップ)
設定(GMS及びDVRの設定変更)
接続/追加(DVRの接続設定及び接続と切断、アップグレード、アプリケーションの終了)
- ⑨ **サーバーリスト** ⇒ GMSに接続したDVRサーバーの一覧が表示されます。
- ⑩ **ブックマークボタン** ⇒ 簡単に検索できるように、再生画像の位置を登録します。
- ⑪ **画質調整ボタン** ⇒ 輝度(ブライトネス)、明度(コントラスト)、輪郭(シャープネス)を調整します。
- ⑫ **カレンダーボタン** ⇒ カレンダーを表示します。録画ファイルが保存されている日付は、別の色で表示されます。
- ⑬ **イベントボタン** ⇒ センサー入力イベントとモーション検知イベントを一覧表示します。
一覧表示からイベントを選択して、そのイベントを録画した映像を表示できます。

4.2 録画映像の再生画面

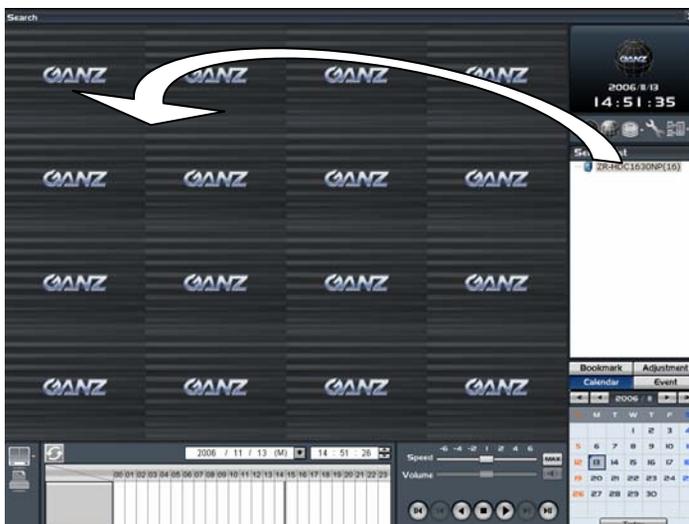
サーバーリストから任意のサーバーを選択して録画映像を検索再生することができます。

録画映像を表示する

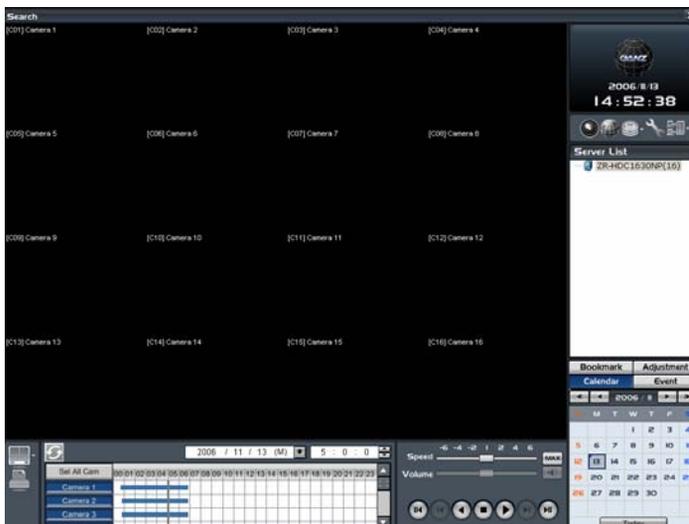
1. サーバーリストからDVRサーバーを選択します。



2. DVRサーバーをドラッグして、表示パネル内でドロップします。



3. DVRサーバーの録画情報が表示されます。

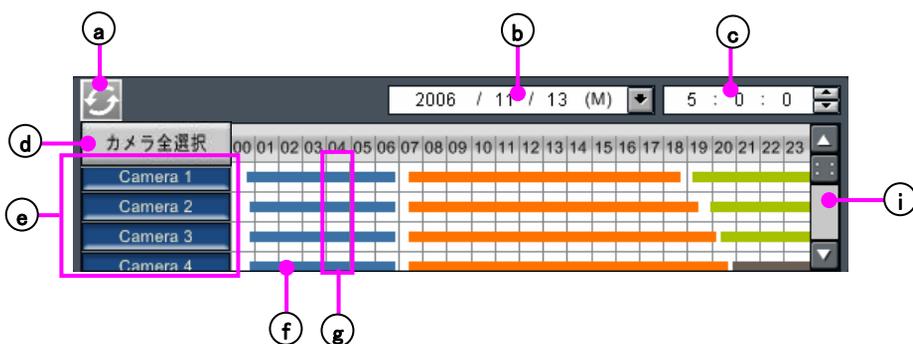


4. 別のDVRサーバーを表示するには、前述の手順を繰り返してください。

4.3 再生時のタイムグラフパネル

タイムグラフには、選択したチャンネルの録画状態が表示されます。録画状態は24時間形式のグラフで表示され、録画グラフの色は録画種別によって異なります。録画種別は、連続、モーション、アラーム、プリアラーム、ATM/POSがあります。

タイムグラフパネル



- Ⓐ 更新ボタン ⇒ 最新の録画時刻でタイムグラフを更新します。
- Ⓑ 日付選択 ⇒ 年月日を選択します。
- Ⓒ 時刻選択 ⇒ 時刻を選択します。
- Ⓓ カメラ全選択ボタン ⇒ 全カメラを選択します。
- Ⓔ カメラボタン ⇒ 検索再生するカメラを選択します。
- Ⓕ タイムグラフ ⇒ 録画種類と録画時間をグラフで表示します。

色	表示内容	表示例
・オレンジ	連続録画	
・青	モーション録画	
・黄緑	プリアラーム録画	
・緑	アラーム録画	
・水色	音声録画	
・ピンク	緊急録画	
・灰色	オブジェクト監視	
・紫	ATM/POS	

- Ⓖ 検索バー ⇒ 検索再生する時刻を指定します。
- Ⓖ スクロール ⇒ タイムグラフパネルをスクロールします。

カレンダーを使用して任意の録画日を表示選択できます。日付を選択すると自動的に録画情報がタイムグラフに表示されます。録画データの有無はカレンダー上の日付の色で識別可能です。

日付を選択する

1.  をクリックしてカレンダーを表示させます。

2008 / 1 / 23 (水) 

2. カレンダーで日付を選択します。



選択した日付

録画データが存在する日付

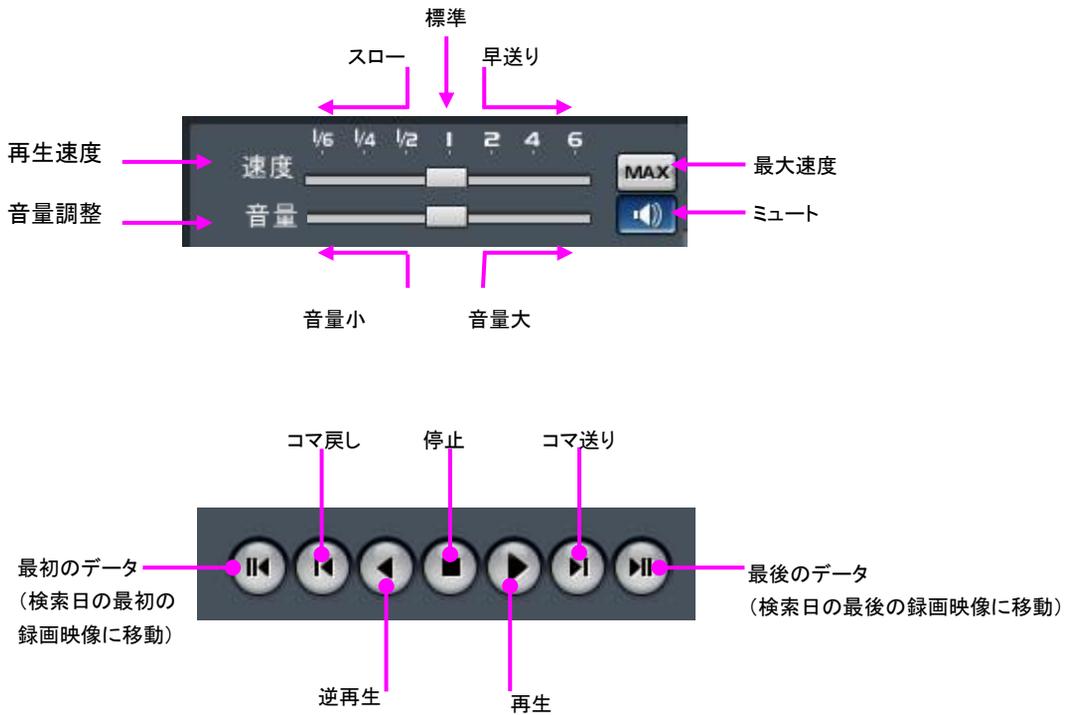
3. 検索再生する時刻を入力します。

13 : 56 : 36 

4.4 再生コントロール

再生コントロール

録画ファイルを再生すると、再生ボタンや一時停止ボタンなどのコントロールが表示されます。再生速度の調整も可能です。



4.5 再生画面の分割

分割画面で表示する

1. 画面操作の  をクリックすると下図のポップメニューが表示されます。



2. ポップメニューの分割ボタンをクリックすると対応する分割画面で表示されます。



4分割



6分割



9分割



10分割



13分割



16分割



25分割



33分割



36分割

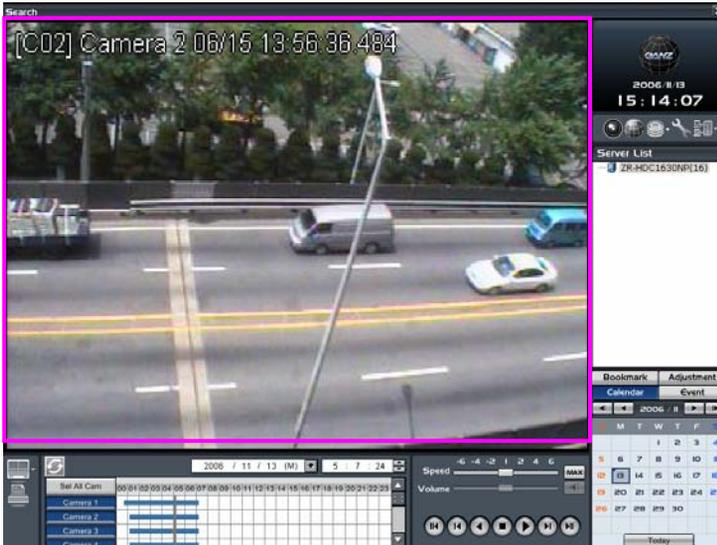
「注」

- ・ 選択したカメラに映像がない場合は、黒画面が表示されます。

4.6 印刷

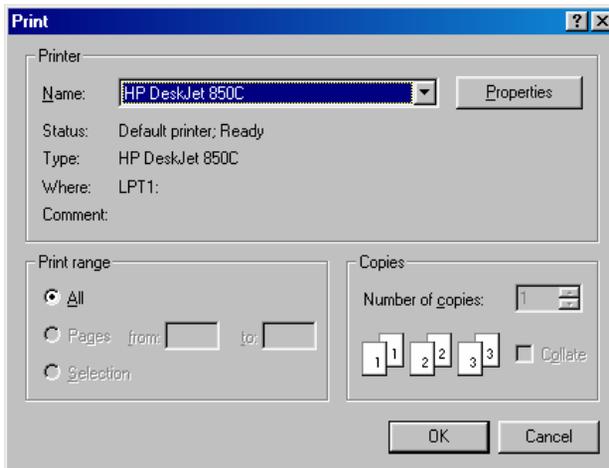
印刷

1. 印刷する録画映像カメラを単画面で再生します。(ダブルクリックして選択)



2. 印刷する録画映像で「再生コントロール」の「停止」ボタンをクリックします。

3.  をクリックすると「印刷」の画面が表示されます。



4. 任意の印刷設定及び部数を入力して印刷します。

5. 「OK」をクリックすると、印刷が始まります。

☞ 「注」

プリンタの追加

印刷するには、プリンタをコンピュータに直接接続するか、ネットワークまたは共有プリンタへの接続を作成する必要があります。

1. Windowsの「コントロールパネル」-「プリンタとFAX」または「プリンタ」を選択します。
2. 「プリンタの追加」を選択してプリンターを追加します。

※詳細内容に関しては各Windowsのヘルプをご参照してください。

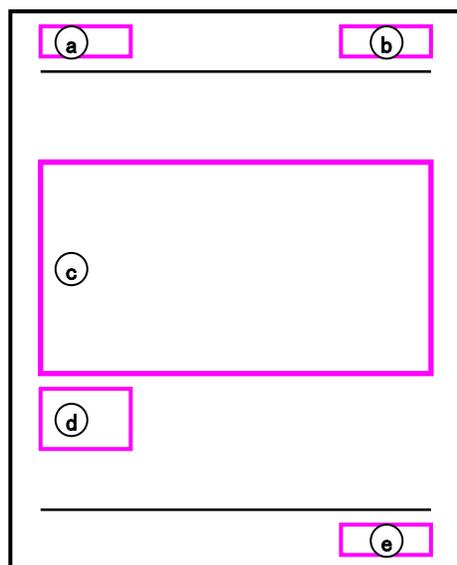
画像の印刷

- ・印刷する画像のサイズは用紙サイズに合わせたフォームで印刷します。
- ・画像の他にDVRサーバー名称、カメラ名称、日付時間も印刷します。

印刷できない場合

1. Windowsのプリンタ設定を確認します。
2. プリンタケーブルを適切に接続していることを確認します。

「印刷フォーム」

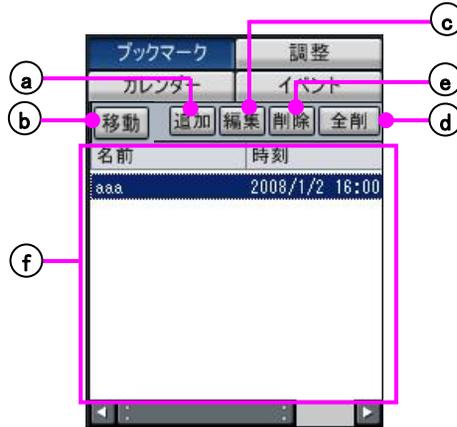


- ① サーバー名称 ⇒ DVRサーバーの名称。
- ② サーバー機種 ⇒ DVRサーバーの機種名称。
- ③ 画像 ⇒ 選択された録画再生画像。
- ④ 画像情報 ⇒ DVRサーバー名称、カメラ名称、画像の日付時刻。
- ⑤ 印刷日 ⇒ 印刷が実行された日付時刻。

4.7 ブックマーク

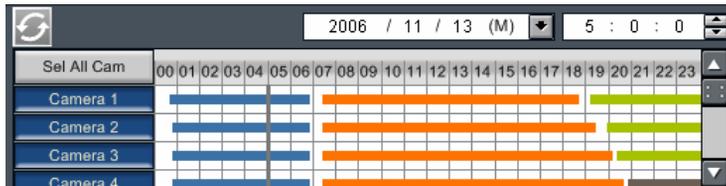
ブックマークを追加する

1. 「ブックマーク」ボタンをクリックします。



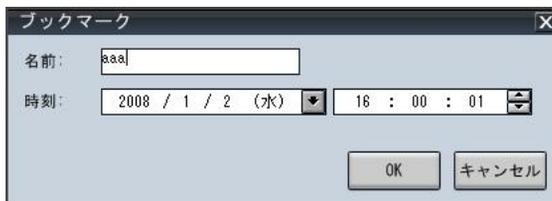
- (a) 追加 ⇒ 現在のフレームをブックマーク一覧に追加します。
- (b) 移動 ⇒ 選択したブックマークに移動します。
- (c) 編集 ⇒ ブックマークの名前と時間を編集します。
- (d) 削除 ⇒ 選択したブックマークを削除します。
- (e) 全削 ⇒ すべてのブックマークを削除します。
- (f) ブックマークリスト ⇒ ブックマークの一覧を表示します。

2. ブックマークとして追加する時刻を選択します。

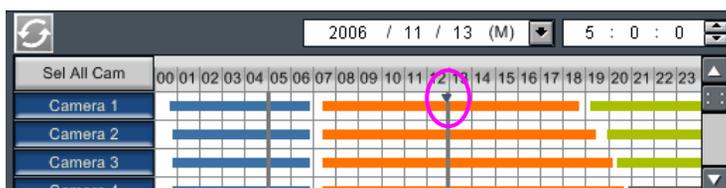


3. 「追加」ボタンをクリックします。

4. ブックマークとして追加する「名前」を任意に入力します。



5. 「OK」ボタンをクリックして、ブックマークをリストに追加します。



ブックマークを削除する

1. 削除するブックマークを選択します。



2. 「削除」ボタン をクリックすると下図が表示されます。



3. 「はい」をクリックするとブックマークが削除されます。

全てのブックマークを削除する

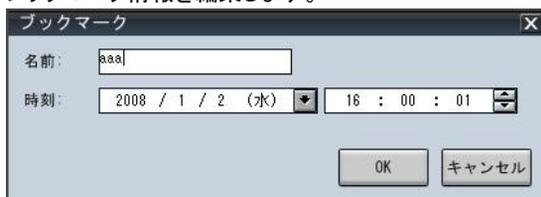
1. 「全削」ボタン をクリックすると下図が表示されます。



2. 「はい」をクリックすると全てのブックマークが削除されます。

ブックマークを編集する

1. 編集するブックマークを選択します。
2. 「編集」ボタンをクリックします
3. ブックマーク情報を編集します。



4. 「OK」ボタンをクリックして、変更内容を反映させます。

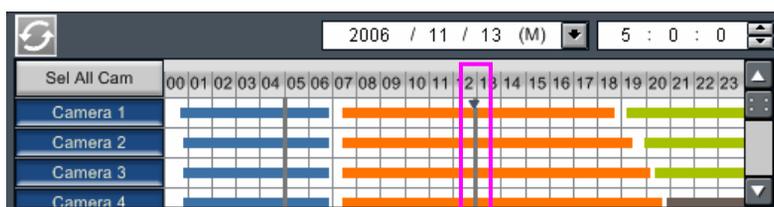


ブックマークを指定して移動する

1. 移動先のブックマークを選択します。



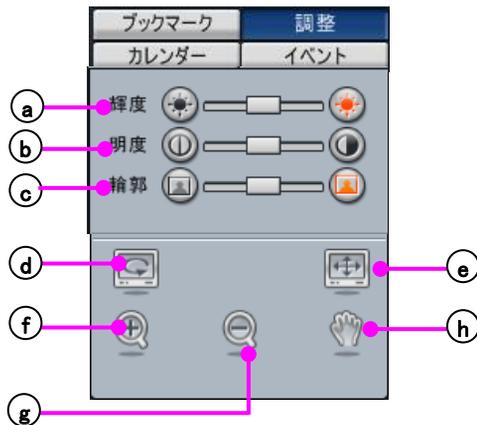
2. 「移動」ボタンをクリックします。
3. 選択したブックマークの時刻に移動します。



4.8 画質調整

画質調整

1. 「調整」ボタン をクリックします。



- Ⓐ 輝度 ⇒ 映像のブライトネスを調整します。
- Ⓑ 明度 ⇒ 映像のコントラストを調整します。
- Ⓒ 輪郭 ⇒ 映像のシャープネスを調整します。
- Ⓓ 初期値 ⇒ 各パラメータを初期値に戻します。
- Ⓔ 画面の拡大/縮小 ⇒ 表示している映像を拡大/縮小します。
- Ⓕ ズームイン ⇒ 映像を拡大します。
- Ⓖ ズームアウト ⇒ 映像を縮小します。
- Ⓗ 移動 ⇒ 拡大表示時に表示エリアを移動させます。(マウスドラッグで移動)

4.9 カレンダー

カレンダーを使用して任意の録画日を表示選択できます。選択された日付は青枠で表示され、録画情報がタイムグラフに表示されます。

日付を選択する

1. 「カレンダー」をクリックして、日付を指定します。

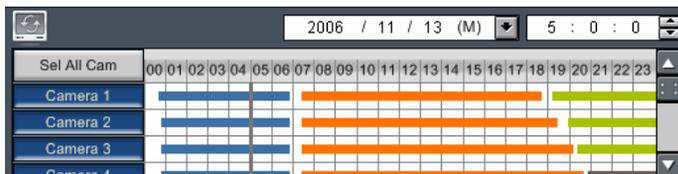


- (a) 前年 ⇒ 1年前に移動します。
- (b) 翌年 ⇒ 1年先に移動します。
- (c) 前月 ⇒ 1ヶ月前に移動します。
- (d) 翌月 ⇒ 1ヶ月先に移動します。
- (e) 日付 ⇒ 指定した日付に移動します。
- (f) 今日 ⇒ 本日の日付に戻ります。

2. カレンダーで日付を選択します。



3. 選択した日付の録画情報がタイムグラフに表示されます。



4.10 イベント

DVRサーバーで発生したイベントが表示されます。モーション検知とセンサーイベントがイベントリストに表示されます。イベントをダブルクリックして、検索再生する映像を表示します。

※ZR-DA6xx/7xx/304Jシリーズでは対応していません。

イベント

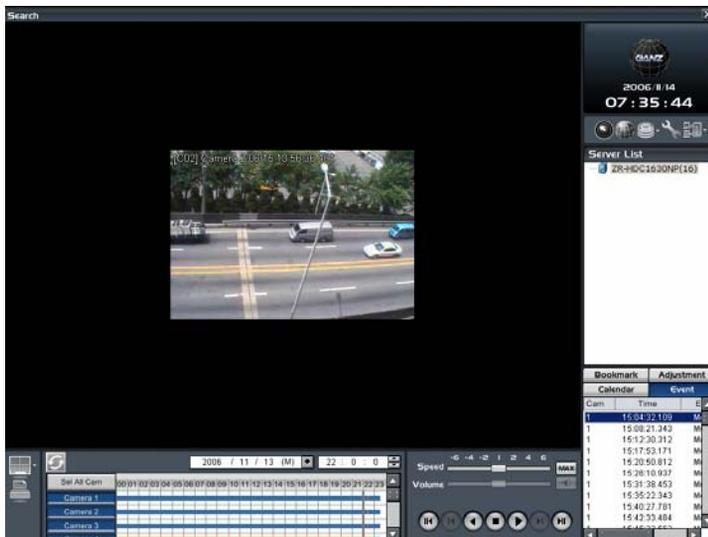
1. 「イベント」をクリックして、イベントを検索します。



2. 検索するイベントをダブルクリックします。



3. 指定したイベントの映像が表示されます。



4.11 バックアップデータ再生

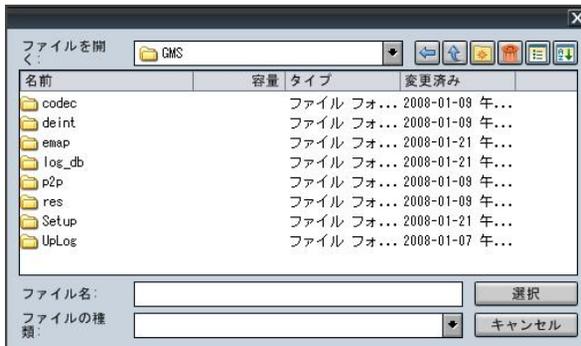
バックアップ方式を「時間」でバックアップしたデータを再生します。

バックアップしたデータを再生する

1. ツールメニューの  をクリックすると下図のポップメニューが表示されます。

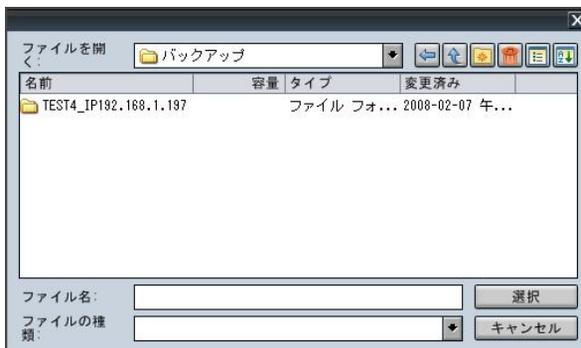


2. 「検索」ボタンをクリックすると「ファイル選択」の画面が表示します。

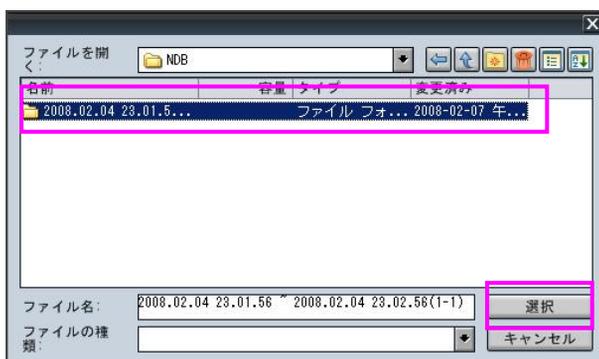
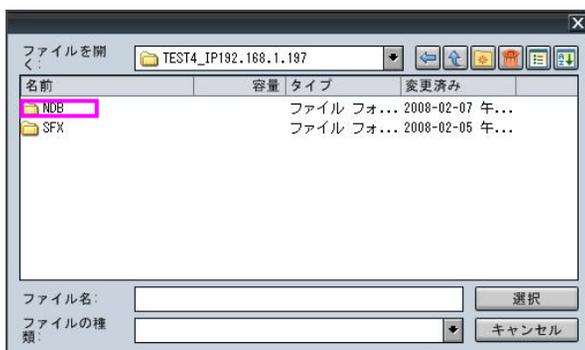


3. バックアップデータを選択します。

※バックアップの際は「サーバ名称_IPアドレス」のフォルダが作成されます。



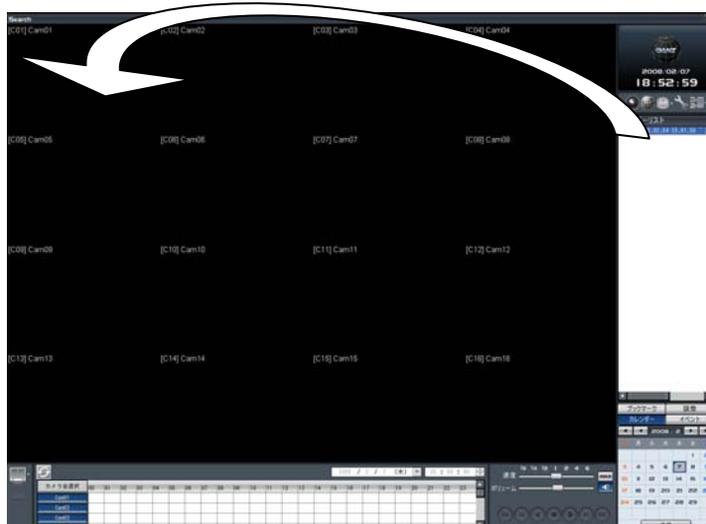
※NDBフォルダ内にあるバックアップ日時のフォルダを選択して「選択」ボタンをクリックします。



4. サーバリストにバックアップの日付時間が表示されます。



5. バックアップの日付時間をドラッグして表示パネルでドロップします。

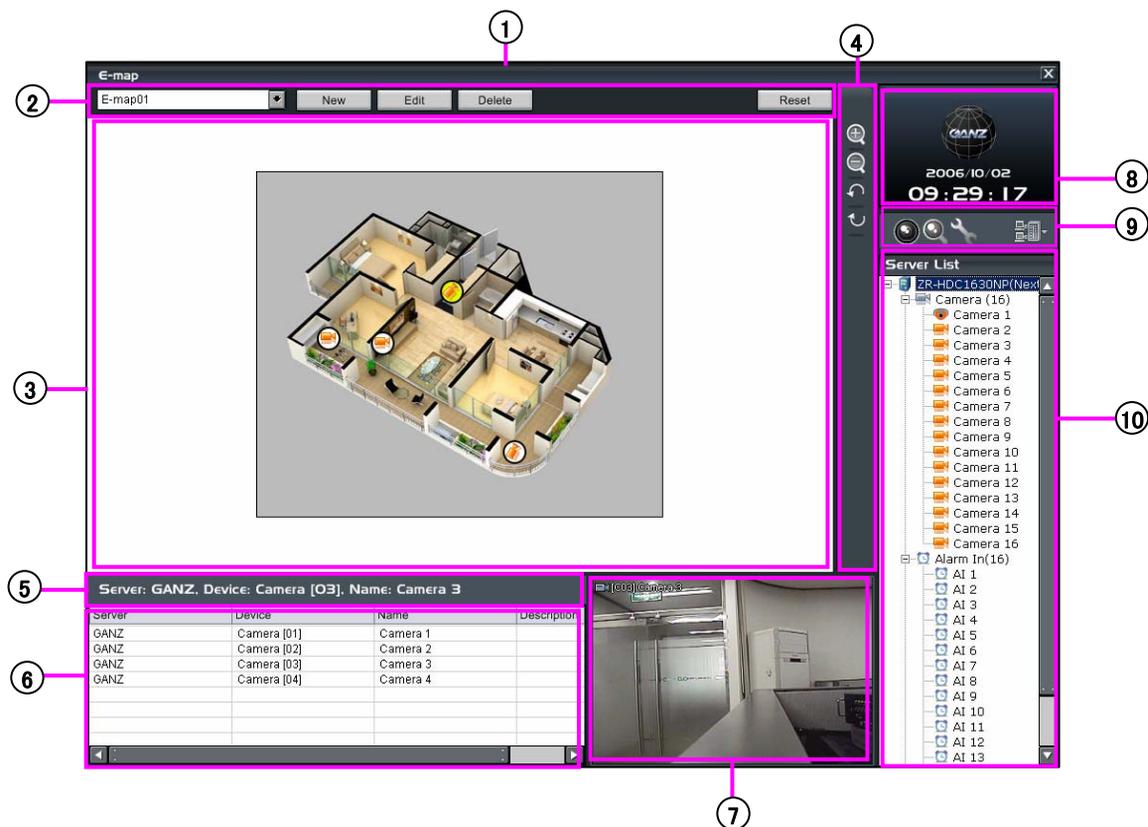


6. バックアップの録画情報が表示されます。

5. GMS E-Map

5.1 E-Map表示

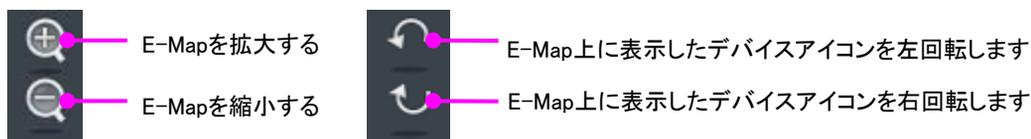
E-Mapとは、カメラ、センサー入力、リレー出力の設置場所を示す地図です。E-Mapには、次のユーザーインターフェースがあります。各ボックスの説明を次に示します。



- ① タイトルバー ⇒ プログラム名が表示されます。
- ② E-Map編集パネル ⇒ E-Mapを登録、編集、または削除します。



- ③ 表示パネル ⇒ カメラとアラームコントロールを配置したE-Mapを表示します。
- ④ E-Mapデバイスパネル ⇒ 以下のコントロールを使用して、E-Mapを拡大/縮小します。



- ⑤ デバイス選択パネル ⇒ カメラコントロールに関する情報が表示されます。
- ⑥ デバイスリストパネル ⇒ デバイス情報を表示します。
- ⑦ カメラ映像パネル ⇒ E-Map上で選択したカメラコントロールの映像を表示します。
- ⑧ 日付時刻表示 ⇒ 日付と時刻を表示します。
- ⑨ ツールメニュー ⇒ 検索、バックアップ、サーバーメニューを表すアイコンが表示されます。
- ⑩ サーバーリスト ⇒ カメラ、センサー入力、リレー出力のリソース情報が表示されます。

5.2 E-Map 作成

E-Mapを作成する

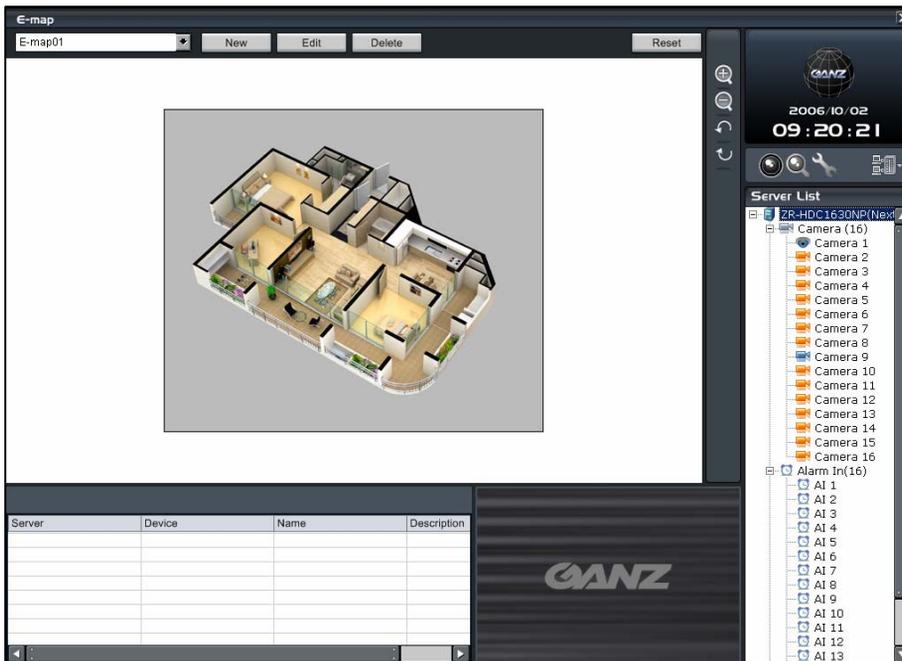
1. 「作成」ボタンをクリックすると「E-map作成」画面が表示されます。



2. 「E-map名称」に任意の名前を入力して「E-map画像」に登録する画像のパスを入力します。



3. 「OK」ボタンをクリックするとE-map画像として登録され「表示パネル」に画像が表示されます。



5.3 E-Map 名称変更

E-Mapの名称を変更する

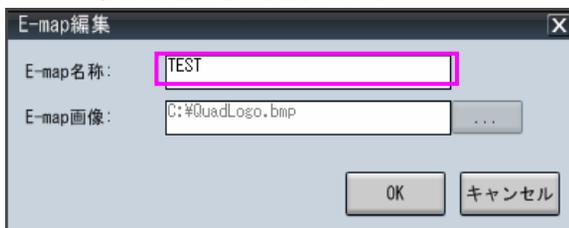
1. 名称変更するE-mapを選択します。



2. 「名称変更」ボタンをクリックすると「E-map作成」画面が表示されます。



3. 「E-map名称」を任意に変更します。



4. 「OK」ボタンをクリックすると「E-map名称」が変更されます。

5.4 E-Map 削除

E-Mapを削除する

1. 削除するE-mapを選択します。



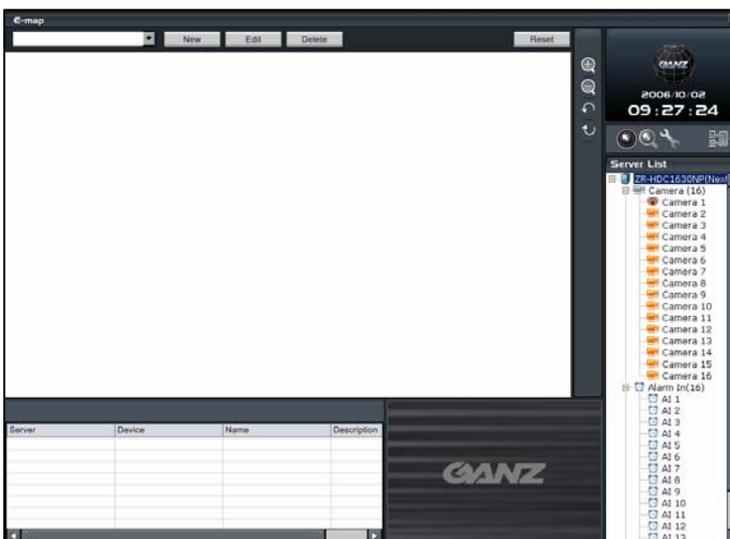
2. 「削除」ボタンをクリックすると削除確認の画面が表示されます。



3. 「削除しますか」という確認メッセージが表示されます。



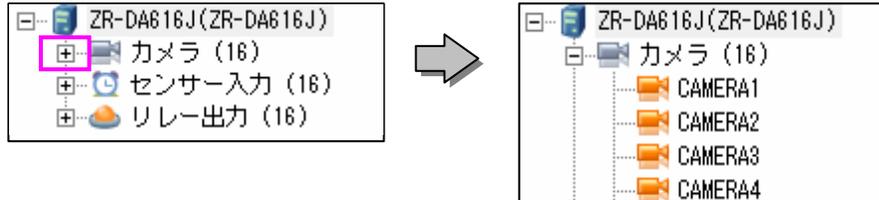
4. 「はい」ボタンをクリックしてするとE-Mapが削除されます。



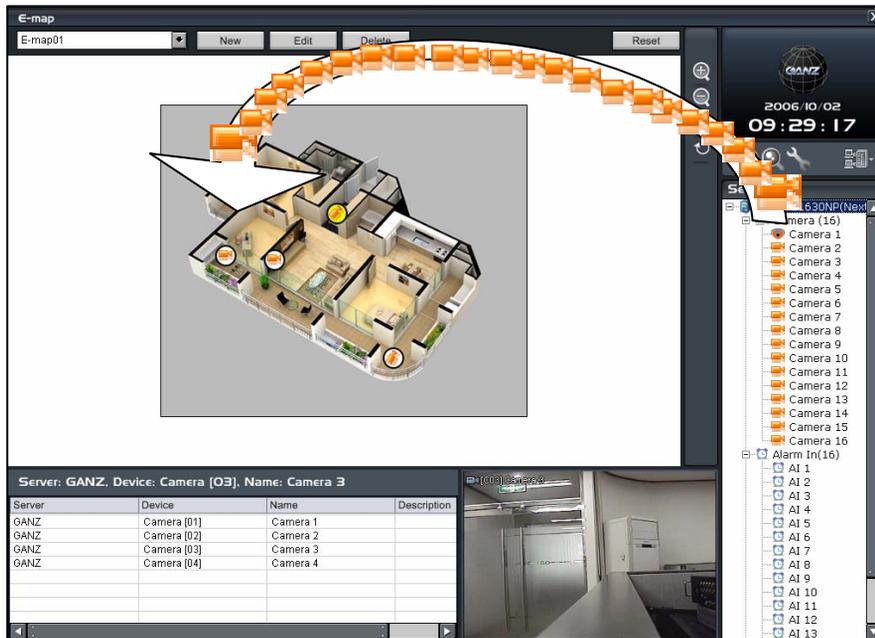
5.5 デバイス登録

デバイスを登録する

1. サーバリストのプラス記号(+)をクリックして、DVRサーバーのデバイスを参照します。



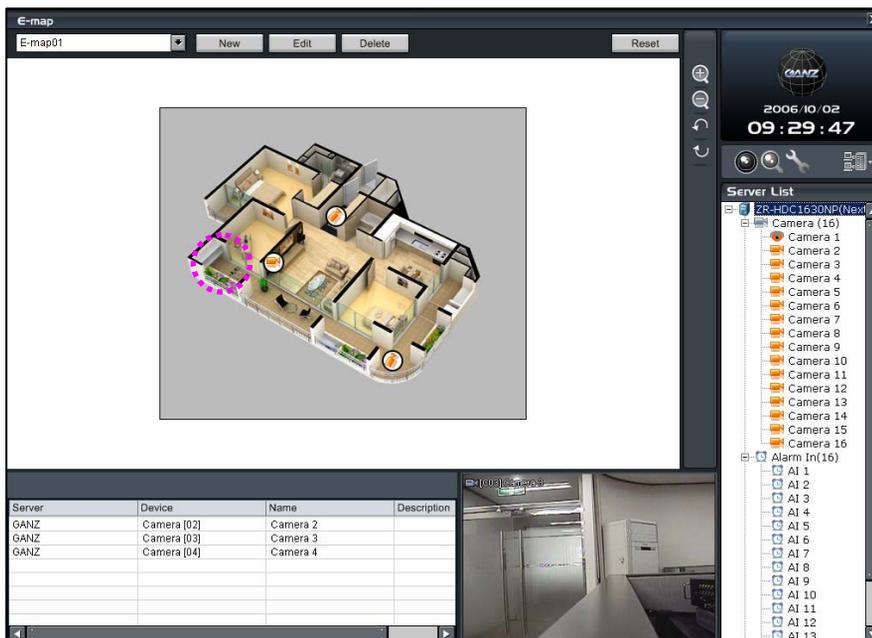
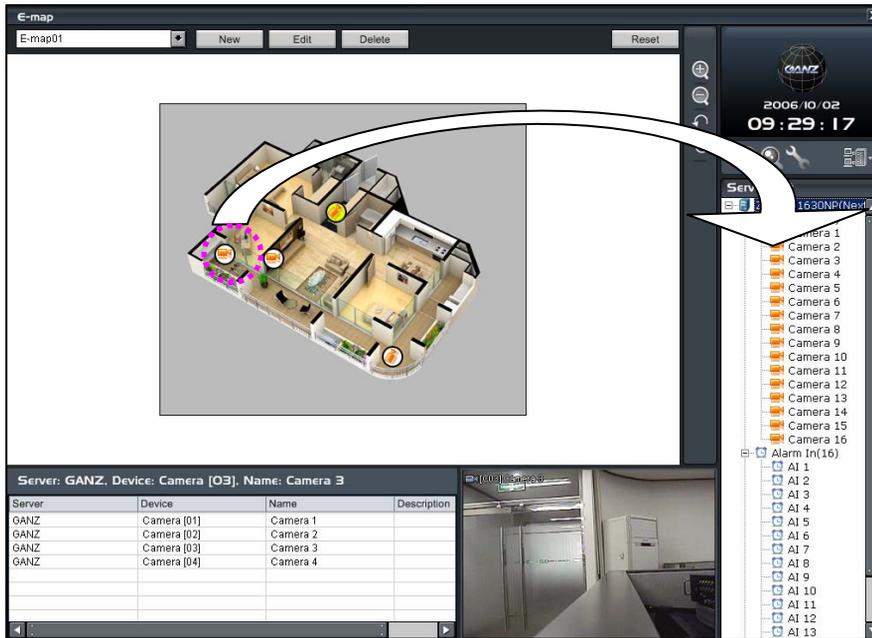
2. サーバリストに表示されているデバイス(カメラ、センサー入力、リレー出力)をドラッグしてマップ上でドロップします。



5.6 デバイスの削除

デバイスを削除する

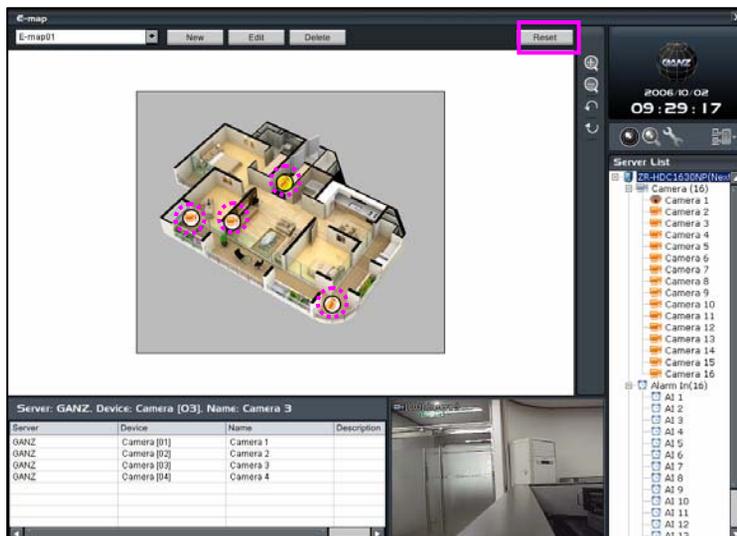
1. 削除するデバイスを選択します。
2. デバイスをドラッグして、サーバーリストにドロップします。



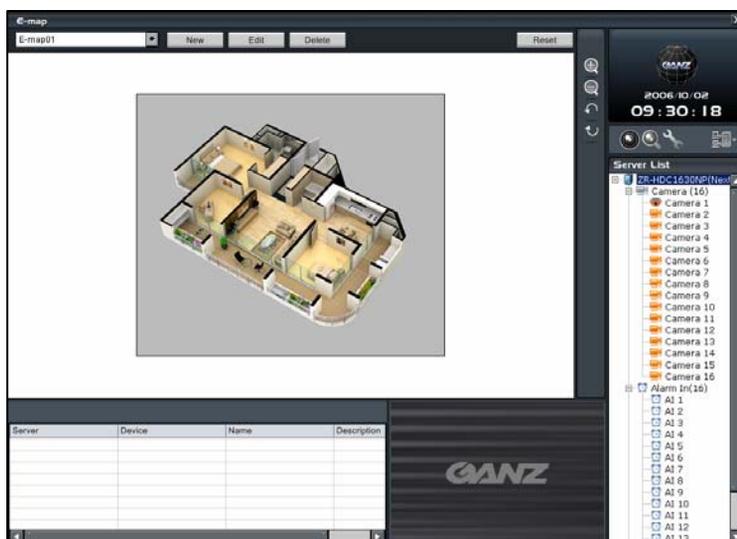
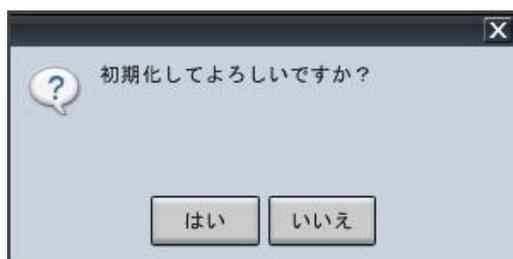
5.7 全デバイスの削除

全デバイスを削除する

1. 「リセット」ボタンをクリックすると確認の画面が表示されます。



2. 「はい」をクリックするとすべてのデバイスが削除されます。



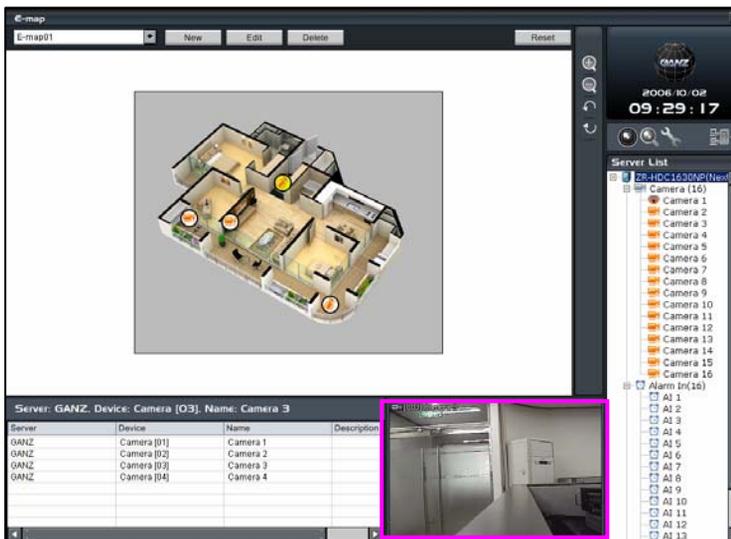
5.8 E-Mapのライブ映像画面

ライブ映像を表示するには

1. E-Map上で  コントロールをダブルクリックします。



2. 選択したカメラのライブ映像が表示されます。



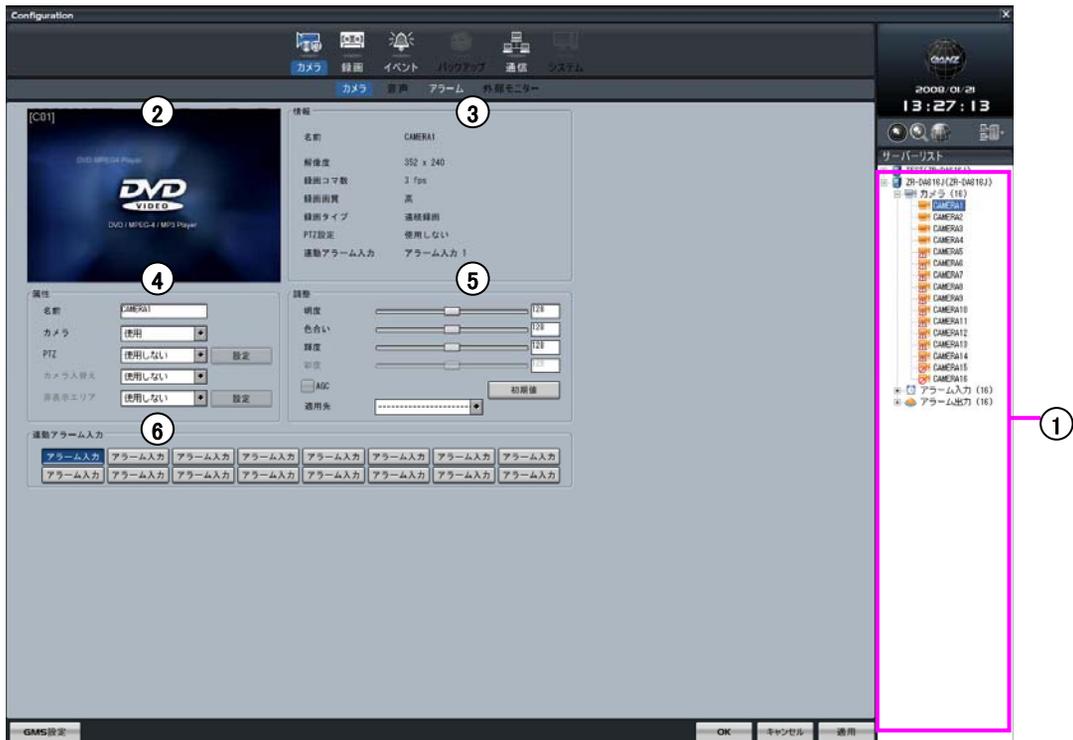
6.設定

6.1 カメラの設定

カメラ設定では、カメラ、アラーム、モニタなどの外部デバイスの設定を変更できます。
グレーアウトしている部分はZR-DA6xx/7xx/304Jシリーズでは使用できません。

6.1.1 カメラ

カメラは、次図のオプションを使用して、個別に設定します。



- ① サーバリスト ⇒ カメラを設定するチャンネルを選択します。
- ② カメラ映像 ⇒ 選択したカメラの映像を表示します。カメラの設定を変更すると、変更内容が表示中の映像に反映されます。
- ③ カメラ情報 ⇒ 選択したチャンネルの設定情報を表示します。
- ④ チャンネル設定 ⇒ カメラ名、カメラの使用/不使用、PTZプロトコル、非表示カメラの有効/無効を設定します。
- ⑤ 画質調整 ⇒ 明度、色合い、輝度、彩度を調整します。
パラメータを初期値にリセットするには、「初期値」をクリックします。
* 適用 ⇒ 選択したチャンネルの設定値を全カメラまたは選択したカメラに適用します。

「注」

・画質制御は主設定には使用しないでください。前記の機能は画質の調整だけに使用します。カメラの設定値とモニタ出力を最初に確認してください。

- ⑥ 連動センサー入力 ⇒ カメラに関連付けるセンサー入力を選択します。センサー入力にイベントが発生すると、センサー入力に関連付けたカメラが録画を開始します。

カメラの属性

The image shows a configuration window titled "属性" (Attributes) for a camera. It contains several input fields and buttons. Four numbered callouts (1-4) point to specific elements:

- ① 名前 (Name): A text input field containing "CAMERA1".
- ② カメラ (Camera): A dropdown menu set to "使用" (Use).
- ③ PTZ: A dropdown menu set to "使用" (Use).
- ④ 設定 (Settings): A button located to the right of the PTZ dropdown menu.

Other elements in the window include:

- カメラ入替え (Camera Replacement): A dropdown menu set to "使用しない" (Do not use).
- 非表示エリア (Hidden Area): A dropdown menu set to "使用しない" (Do not use).
- A "設定" (Settings) button is also located to the right of the "非表示エリア" dropdown.

- ① 名前 ⇒カメラを設置する場所の名前を入力します。
- ② カメラ ⇒カメラを有効/無効に設定します。
- ③ PTZ ⇒PTZを有効/無効に設定します。
- ④ 設定 ⇒PTZ設定を選択します。

DVRシステムには、PTZカメラ、ドーム型カメラ、受信装置(RX)を接続して、ソフトウェア経由でデバイスを遠隔制御できます。この機能を使用するには、DVRのRS485ポートにデバイスを接続し、デバイスのIPアドレスとパラメータを設定します。

PTZカメラを設定する

1. PTZコントロールを設定するカメラ番号を選択します。
2.  をクリックし、「PTZ」フィールドの「使用」を選択します。



属性

名前	CAMERA1	
カメラ	使用	
PTZ	使用	設定
カメラ入替え	使用 使用しない	
非表示エリア	使用しない	設定

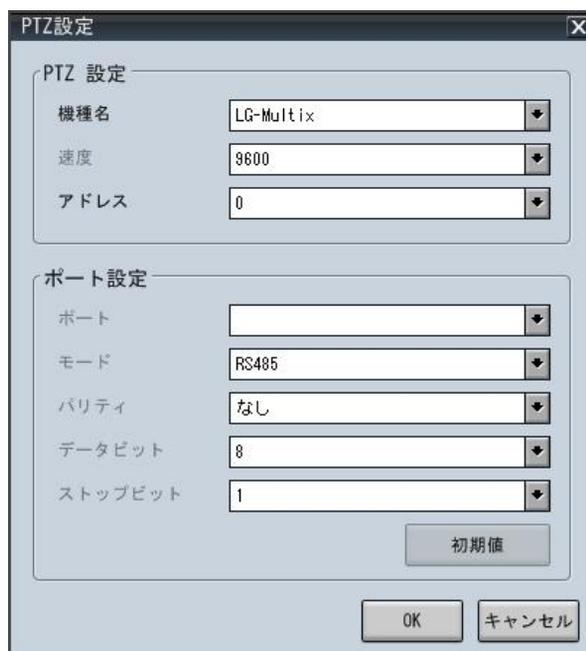
3. 「使用」を選択すると、「設定」ボタンが有効になります。



属性

名前	CAMERA1	
カメラ	使用	
PTZ	使用	設定
カメラ入替え	使用しない	
非表示エリア	使用しない	設定

4. 「設定」をクリックします。次のダイアログボックスが開きます。



PTZ設定

PTZ 設定

機種名	LQ-Multix
速度	9600
アドレス	0

ポート設定

ポート	
モード	RS485
パリティ	なし
データビット	8
ストップビット	1

初期値

OK キャンセル

5. PTZモデル(プロトコル)、アドレスを入力します。
※ZR-DA6xx/7xx/304Jシリーズでは他の項目は固定になります。
- 6.設定を完了したら、「OK」をクリックします。

PTZ設定

PTZ 設定

① 機種名 LG-Multix

② 速度 9600

③ アドレス 0

ポート設定

④ ポート

⑤ モード RS485

⑥ パリティ なし

⑦ データビット 8

⑧ ストップビット 1

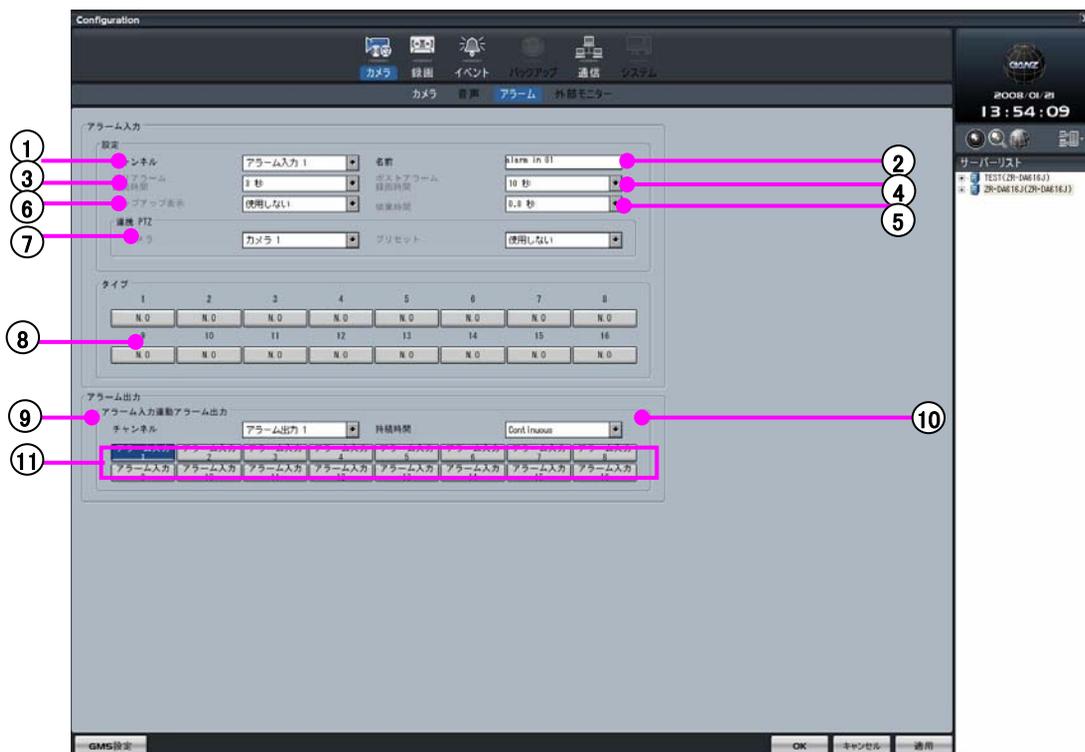
⑨ 初期値

OK キャンセル

- ① PTZモデル⇒設置したPTZのPTZプロトコルを選択します。
- ② ボーレート⇒PTZカメラの転送速度(2400~115200 Bps)を選択します。
- ③ アドレス ⇒PTZカメラのアドレス(0~255)を入力します。
- ④ ポートNo. ⇒PTZを接続するポート番号を選択します。
- ⑤ モード⇒PTZカメラを接続するポートモードを選択します。
- ⑥ パリティ ⇒致命的なエラーを回避するために、パリティビット(None、Odd、Even、Space)を設定します。
- ⑦ データビット⇒4、5、6、7、または8ビットに設定します。
- ⑧ スポットビット ⇒1、1.5、または2ビットに設定します。
- ⑨ デフォルト値⇒ポート番号をデフォルト値に設定します。

6.1.2 アラーム

アラームは、モーション検知、センサートリガなどの特定イベントのセンサー入力機能と、サイレン、ライトなどの外部デバイスを制御するリレー出力機能を備えています。アラーム設定に関するパラメータを次に説明します。

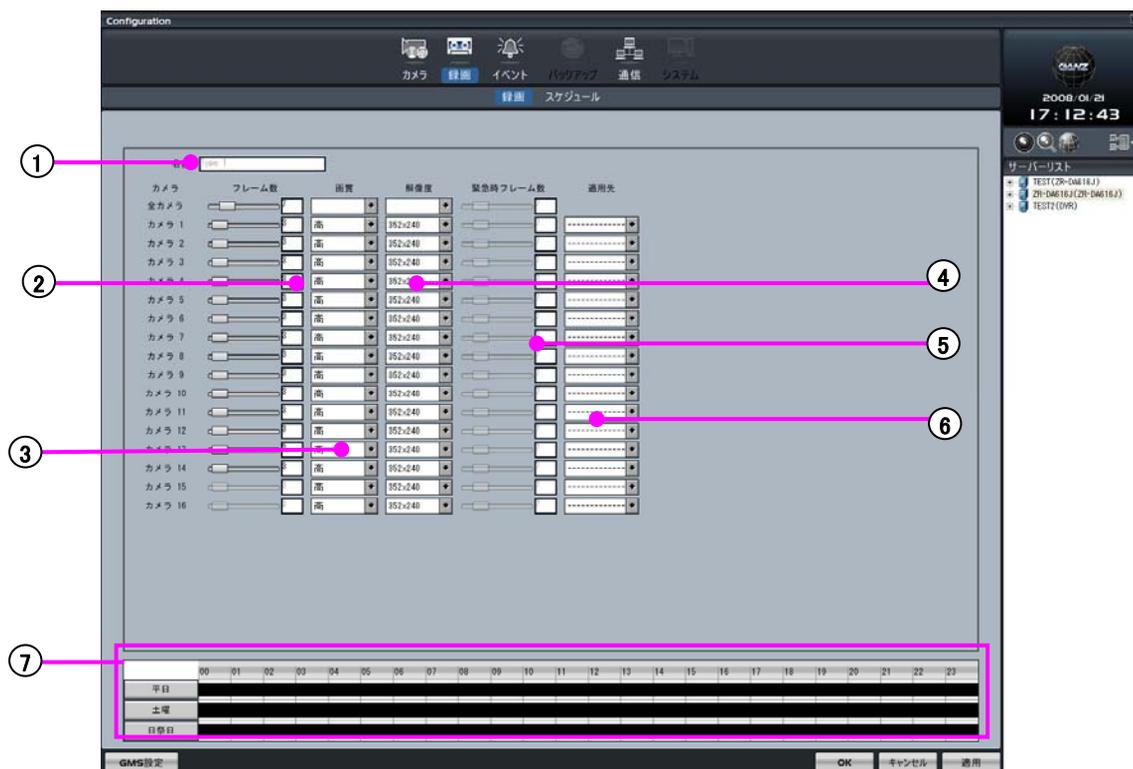


- ① **チャンネル**⇒設定するセンサー入力番号を選択します。
- ② **名前**⇒選択したセンサー入力の名前を入力します。
- ③ **プリアラーム録画時間** ⇒アラームイベント入力以前の映像をDVRに録画する時間(プリアラーム録画)を設定します。※ZR-DA6xx/7xx/304Jシリーズでは使用しません。
- ④ **ポストアラーム録画時間** ⇒センサー入力でイベントを検出した後、DVRが録画を停止するまでの時間(ポストアラーム時間)を設定します。※ZR-DA6xx/7xx/304Jシリーズでは使用しません。
- ⑤ **破棄時間** ⇒「Discard Time」オプションは、所定の時間内に入力されるアラーム数を制限します。複数のアラームが所定の時間内に発生した場合、2番目以降のセンサー入力は、ここで設定した破棄時間が経過するまで破棄されます。※ZR-DA6xx/7xx/304Jシリーズでは使用しません。
- ⑥ **ポップアップ表示** ⇒イベントが発生した場合、センサー入力に関連付けたカメラのライブ映像を全画面に表示します。※ZR-DA6xx/7xx/304Jシリーズでは使用しません。
- ⑦ **PTZリンク** ⇒イベントが発生すると、PTZカメラを所定の位置に移動します。※ZR-DA6xx/7xx/304Jシリーズでは使用しません。
- ⑧ **タイプ** ⇒センサー入力の信号タイプを指定します。センサー入力が起動すると、信号タイプは「NC」から「NO」、「NO」から「NC」にそれぞれ変わります。
「NC」⇒センサー入力が開くと、イベントが発生します(ノーマルオープン)。
「NO」⇒センサー入力が開くと、イベントが発生します(ノーマルクローズ)。
- ⑨ **チャンネル**⇒センサー入力に関連付けるリレー出力を選択します。
- ⑩ **発報時間**⇒アラームを出力する時間を選択します。イベントが発生すると、アラームは指定した時間だけ起動します。
- ⑪ **センサーボタン** ⇒リレー出力に関連付けるセンサー入力を選択します。

6.2 録画

6.2.1 録画

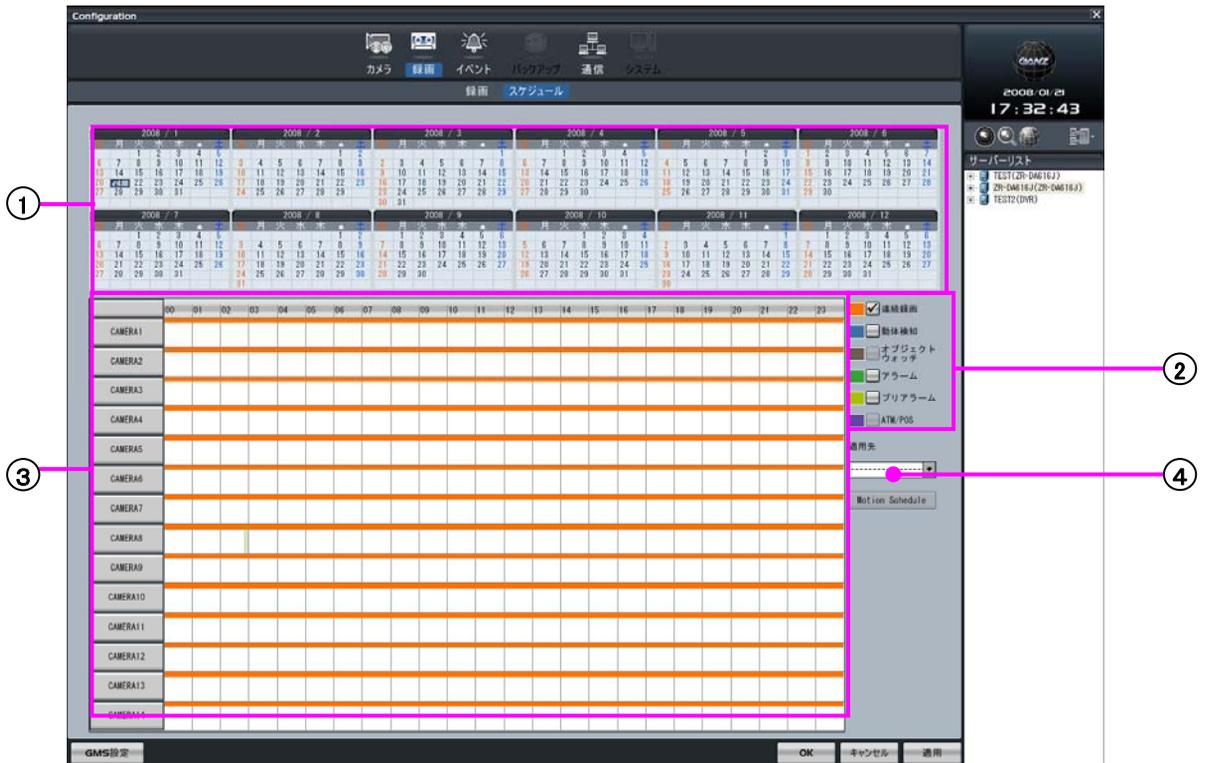
録画設定では、チャンネルのフレームレート、緊急時のフレームレート、画質、解像度を平日、土曜日、休日別に設定します。



- ① 名前 ⇒スケジュール名を入力します。 ※ZR-DA6xx/7xx/304Jシリーズでは使用しません。
- ② フレームレート ⇒カメラ映像を録画するフレームレートを設定します。
- ③ 画質 ⇒カメラの録画品質を設定します。
- ④ 解像度 ⇒録画の解像度を設定します。
- ⑤ 緊急時フレームレート ⇒緊急時の映像を録画するフレームレートを設定します。 ※ZR-DA6xx/7xx/304Jシリーズでは使用しません。
- ⑥ 適用 ⇒選択したチャンネルの設定値を全チャンネルまたは選択したチャンネルに適用します。 ※ZR-DA6xx/7xx/304Jシリーズでは使用しません。
- ⑦ タイムグラフパネル ⇒録画スケジュールを平日、土曜日、休日別に表示します。タイムグラフ上で録画オプションをドラッグすると、設定する録画タイプを選択できます。 ※ZR-DA6xx/7xx/304Jシリーズでは使用しません。

6.2.2 スケジュール

録画モードを指定して、平日、土曜日、休日別に録画スケジュールを設定します。画面には、日付を選択するカレンダーが表示されます。

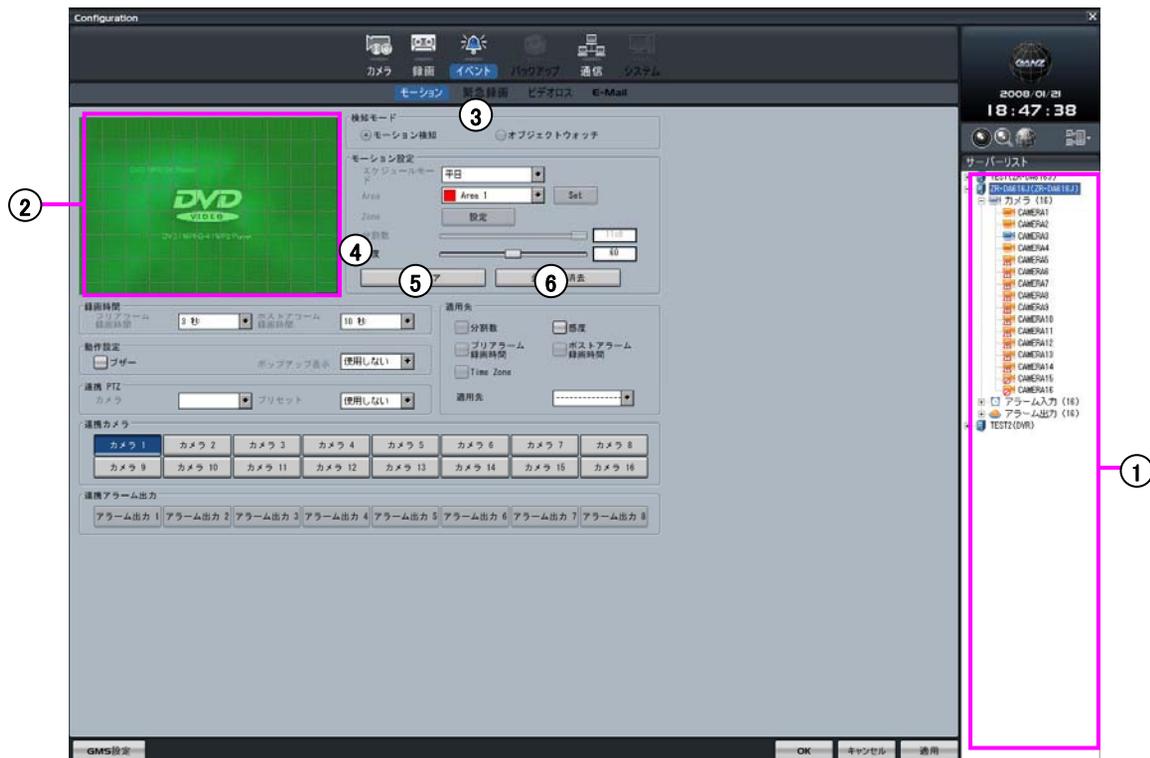


- ① カレンダー(12か月) ⇒12か月分のカレンダーが表示されます。
- ② 録画モード ⇒録画モードを選択します。録画モードを選択するには、録画モードの横にあるチェックボックスをオンにします。複数の録画モードを選択できます。
 - 連続録画 ⇒映像を連続して録画します。
 - Motion モーション録画 ⇒動体を検知した映像だけを録画します。
 - オブジェクト録画 ⇒指定したエリア内のオブジェクトに動きが生じた場合に録画します。
 - センサー録画 ⇒センサー入力が起動したときだけ録画します。
 - プリアラーム録画 ⇒モーションを検知した映像を録画します。ただし、ここで設定した時間だけ先行して録画を開始します。
 - ATM/POS ⇒ATM/POSイベントが発生した映像だけを録画します。
- ③ タイムグラフパネル ⇒カメラの録画タイプを24時間形式のグラフで設定します。タイムグラフ上で録画エリアをドラッグすると、複数の録画タイプを指定できます。
- ④ 適用 ⇒選択したチャンネルの設定値を全カメラまたは選択したカメラに適用します。

6.3 イベント

6.3.1 モーション検知

映像を録画し、個別に割り当てたカメラの動体検知によりアラームを生成します。モーションを検知するエリア、感度、プリアラーム録画時間とポストアラーム録画時間を設定します。



① カメラ ⇒カメラを設定するチャンネルを選択します。

② モーション検知グリッド ⇒選択したカメラの映像を表示します。マウスを使用して、エリア内でモーション検知に使用するブロックを選択します。モーション検知を有効に設定したエリアは緑色、無効に設定したエリアは白ブロックで表示されます。

モーション検知エリアを設定する ⇒マウスを左クリックしてドラッグするか、モーション検知エリアを選択します。

モーション検知エリアを削除する ⇒マウスの右ボタンをクリックしてドラッグするか、削除するモーション検知エリアを選択します。

③ 検知モード ⇒モーション検知モードまたはオブジェクト検出モードを選択します。モーション検知モードを使用する場合は、「モーション検知」を選択します。オブジェクト検出モードを使用する場合は、「オブジェクト監視」を選択します。※ZR-DA6xx/7xx/304Jシリーズでは使用しません。

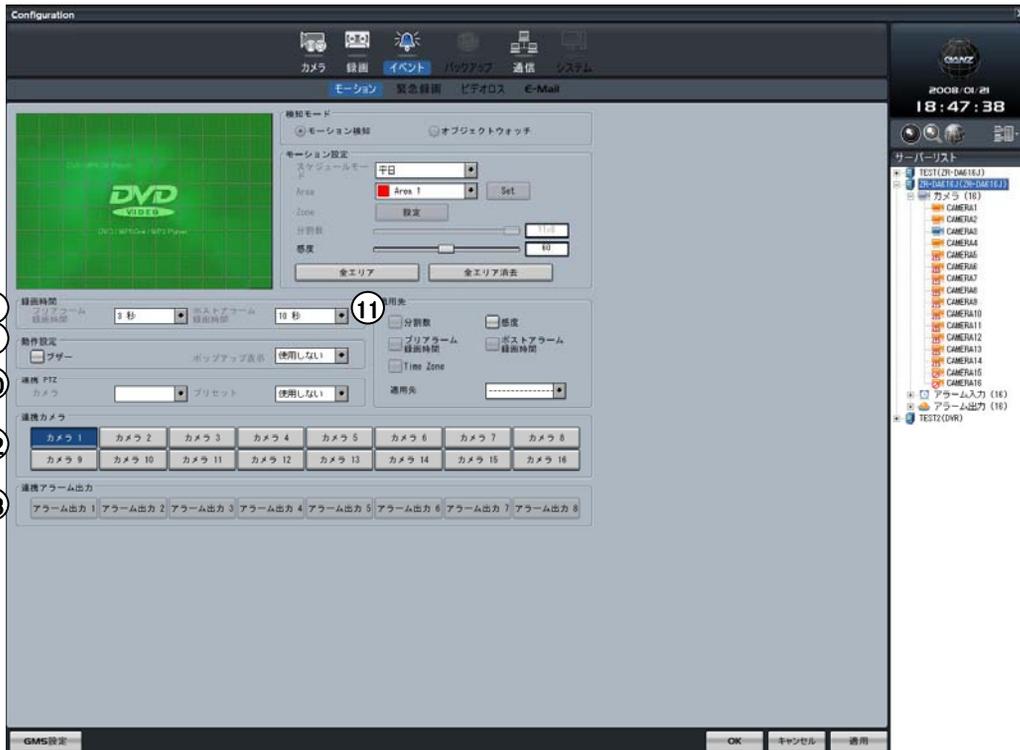
モーション検知⇒指定されたエリア内の動体を検知します。

オブジェクト監視⇒指定されたエリア内のオブジェクトが移動されたことを検知します。

④ 感度 ⇒モーション検知の感度を設定します。

⑤ 全エリア ⇒グリッド上でモーション検知ブロックをすべて選択します。

⑥ 全エリア解除 ⇒グリッド内のモーション検知ブロックをすべてクリアします。

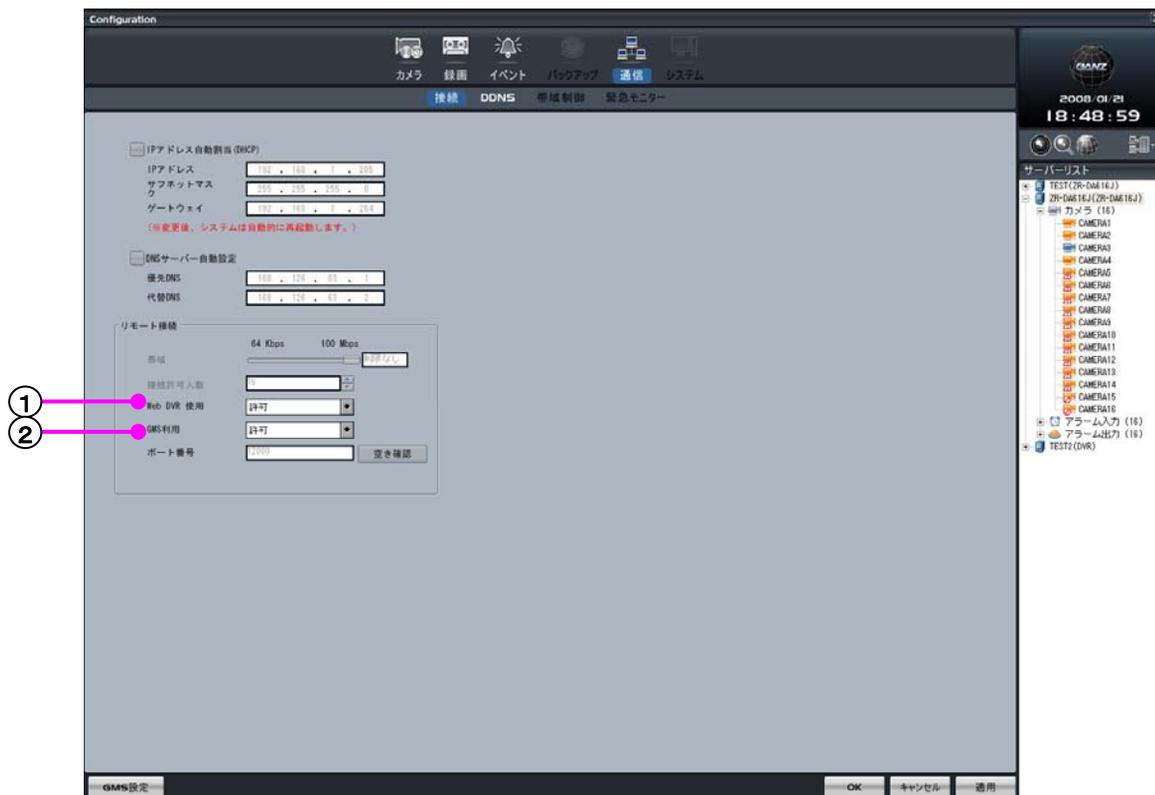


- ⑧ **録画時間** ⇒ モーション検知以前、モーション検知後の映像をDVRに録画する時間(プリアラーム、ポストアラーム録画時間)を設定します。 ※ZR-DA6xx/7xx/304Jシリーズでは設定出来ません。
- ⑨ **動作設定** ⇒ モーションを検知するとブザーを鳴らし、ライブ映像を全画面で表示するように設定します。
- ⑩ **連携PTZ** ⇒ モーション検知時にPTZカメラを所定の位置に移動するように設定します。 ※ZR-DA6xx/7xx/304Jシリーズでは設定出来ません。
- ⑪ **適用先** ⇒ 選択したチャンネルの設定値を全チャンネルまたは選択したチャンネルに適用します。
- ⑫ **連携カメラ** ⇒ 別のカメラがモーションを検知した際、別のカメラで映像を記録します。モーション検知では、複数のカメラを関連付けられます。
- ⑬ **連携リレー出力** ⇒ モーション検知時にアラームトリガを出力するように設定します。モーション検知では、複数のアラームトリガを出力できます。 ※ZR-DA6xx/7xx/304Jシリーズでは設定出来ません。

6.4 ネットワーク

6.4.1 ネットワーク

ネットワーク環境を設定します。伝送速度、ポート番号、最大同時接続数を指定します。

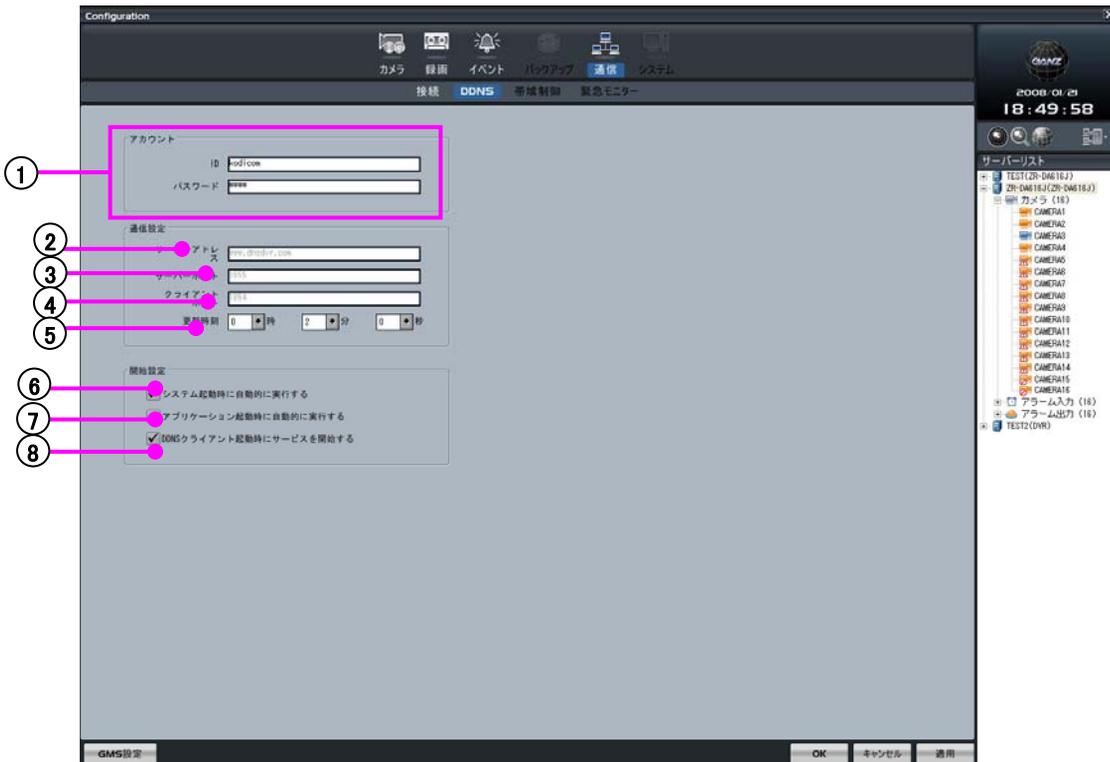


※ZR-DA6xx/7xx/304Jシリーズではネットワークの設定は出来ません。

- ① **Web DVR 接続** ⇒ Web DVR機能を有効/無効に設定します。
- ② **GMS 接続** ⇒ GMSソフトウェアへの接続を有効/無効に設定します。

6.4.2 DDNS

DVRシステムをダイナミックDNS (DDNS) に接続すると、DDNSがIPアドレスを動的に割り当てるため、固定IPアドレスを指定する必要はありません。DVRシステムはADSL回線に自動的に接続します。



① アカウント⇒DDNSサーバーに接続するユーザーIDとパスワードを設定します。

※以下の項目はZR-DA6xx/7xx/304Jシリーズでは設定出来ません。

② サーバーアドレス⇒DDNSサービスを提供するサーバーのIPアドレスを指定します。

③ サーバーポート⇒DDNSサーバーのポート番号を入力します。

④ クライアントポート⇒DDNSクライアントのポート番号を入力します。

⑤ 更新時間⇒DDNS情報の更新時間を入力します。

⑥ DVRシステム起動時にDDNSプログラムを自動的に実行します。

⑦ DVRアプリケーション起動時にDDNSプログラムを自動的に実行します。

⑧ DDNSクライアントプログラムは、起動時にDDNSサーバーに自動的に接続します。

1. CD/DVD-RW 支援項目

* 項目で含まれていないCD/DVD-R/RW Driveは支援していません。

Company	Model
Acer	CRW4432A, CRW6432A, CRW8432A, CRW1032A, CRW1832A, CRW1208A, CRW1610A, CRW2010A, CRW2410A, CRW3210A, CRW4012P, CRW4406EU, CRW6406EU
AOPEN	CRW1232, CRW1232Pro, CRW1632, CRW2040, CRW2440
hp	8100i, 8110i, 8200i, 8210i, 8200e, 8210e, 8220e, 8230e, 8270e, 9100i, 9110i, 9140i, 9200i, 9210i, 9200e, 9210e, 9300i, 9310i, 9340i, 9350i, 9500i, 9510i, 9600si, 9600se, 9700i, 9710i, 9900ci, DVD Writer 100j, DVD Writer 200j, DVD Writer 300c, DVD Writer 300n, DVD Writer 400c, DVD Writer 420n
imation	CD-R 8x20, CD-R 4x4x20, CD-R 8x2x20
iomega	ZIPCD 650, ZIPCD 4x4x24, ZIPCD 8x4x32, ZIPCD 12x4x32, ZIPCD 12x10x32
LG	CED-8120B, GCA-4040N, GCC-4120B, GCC-4080N, GCE-8160B, GCE-8521B, GCE-8525B, GMA-4020B, GMA-4040B, GSA-4080B, GSA-4081B, GSA-4082B, GSA-4120B
LITEON	LDW-451S, LTC-48161H, LTR-12101B, LTR-12102B, LTR-16101B, LTR-16102B, LTR-24102B, LTR-32123S, LTR-40125S, LTR-48125W, LTR-52246S, LTR-52327S
National Panasonic	CW-7502, CW-7503, CW-7582, CW-7585, CW-7586, CW-8123, CW-8124, SW-9571, SW-9572, SW-9573, SW-9581, SW-9582, SW-9583, UJDA310, UJDA320, UJDA330, UJDA340, UJDA710, UJDA720, UJDA730, UJDA740, UJ815, UJ825, UJ835, UJ845
Memorex	CRW-6424, MCW6432AI, MCW8432AI, CD-RW12432, MCW1210AI, MCW1210DVD
MITSUSMI	CR-4801TE, CR-4802TE, CR-4804TE, CR-4805TE, CR-4808TE, CR-4809TE, CR-485CTE, DW-7801TE, DW-7802TE

Company	Model
NEC	CB-2100A, ND-1100A, ND-1200A, ND-1300A, ND-2100A, ND-2100AD, ND-2300A, ND-2500A, ND-2500A2, ND-2510A, ND-3100A, ND-3500A, ND-5000A, ND-5100A, ND-5200A, ND-5300A, ND-5500A, NR-7700A, NR-7800A, NR-7900A, NR-8400A, NR-8500A, NR-9100A, NR-9200A, NR-9300A
PHILIPS	CDD3801, CDD4201, CDD4401, CDD4401, CDD4801, CDRW2010K, DVD8301, DVD8421, DVDRW1208, DVDRW228, DVDRW416N, PCRW1208K, RWDV2010K
Pioneer	DVR-103, DVR-104, DVR-105, DVR-106, DVR-106D, DVR-107, DVR-108, DVR-109, DVR-S303, DVR-S502
PLEXTOR	PREMIUM, PX-208U, PX-230A, PX-504A, PX-504UF, PX-708A, PX-708A2, PX-708UF, PX-708UF2, PX-712A, PX-712SA, PX-712UF, PX-716A, PX-716SA, PX-716UF, PX-R412C, PX-R820T, PX-S2410T, PX-S88T, PX-S88TU, PX-W124TS, PX-W1210TA, PX-W1210TS, PX-W1610TA, PX-W2410TA, PX-W4012S, PX-W4012TA, PX-W4012TU, PX-W4220T, PX-W4824TA, PX-W4824TU, PX-W5224TA, PX-W8220T, PX-W8432T
RIOCH	MP5120A, MP5122E, MP5125A, MP7040A, MP7040S, MP7060A, MP7060S, MP7063A, MP7080A, MP7083A, MP7120A, MP7125A, MP7163A, MP7200A, MP7240A, MP7320A, MP7400A, MP8165A, MP9060A, MP9120A, MP9200A, RW5120A, RW5125A, RW8165A
SAMSUNG	SN-324B, SW-240, SW-352, SW-352B
SANYO	CRD-BP3, CED-BP4, CRD-BP5, CRD-BP900P, CRD-BP1300P, CRD-BP1400P, CRD-BP1500P, CRD-BP1600P, CRD-BP1500U, CRD-BP1700P

Company	Model
SONY	CRX100E, CRX120E, CRX140S, CRX140E, CRX145S, CEX145E, CRX160S, CRX160E, CRX175E, CRX185E, CRX195E, CRX200E, CRX215E, CRX75A, CRX75U, CRX85A, CRX85U, DRU110A, DRU120A, DRU-500A, DRU-500UL, DRU-510A, DRU-510UL, DRU-530A, DW-U12A
TDK	DVDRW0404N, VeloCD8432, VeloCD121032, VeloCD161040, VeloCD161040, VeloCD241040, VeloCD241040, VeloCD321040, VeloCD401248
TEAC	CD-W224E, CD-W24E, CD-W28E, CD-RW280PU, CD-W54E, CD-W58E, CD-W512EB, CD-512SB, CD-W516EB, CD-W524EB, CD-W540E, CD-W548E, DV-50E, DW-224E, DW-28E, DW-285PU
WALTEC	WT2082, WT3284, Shuttle, Celerus, Saurus, WT128, Raptor Red, T-REX, T-REX EIDE, Aladar, Titan, Megalus
YAMAHA	CRW-4416S, CRW-4416E, CRW-6416S, CRW-8424S, CRW-8424E, CRW-8824S, CRW-8824E, CRW-2100S, CRW-2100E, CRW-2200S, CRW-2200E, CRW-3200SZ, CRW-3200EZ, CRW-3200SXZ, CRW-3200FXZ, CRW-3200UXZ, CRW-70, CRW-F1, CRW-F1E, CRW-F1DX, CRW-F1SX



CBC Co.,Ltd.
www.GANZ.jp